

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年6月28日
【事業年度】	第113期（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）
【会社名】	株式会社小糸製作所
【英訳名】	KOITO MANUFACTURING CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大嶽 昌宏
【本店の所在の場所】	東京都港区高輪四丁目8番3号
【電話番号】	03(3443)7111(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 山本 英男
【最寄りの連絡場所】	東京都港区高輪四丁目8番3号
【電話番号】	03(3443)7111(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 山本 英男
【縦覧に供する場所】	株式会社小糸製作所大阪支店 (大阪府淀川区西宮原一丁目5番45号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### (1)連結経営指標等

回次 決算年月	第109期 平成21年3月	第110期 平成22年3月	第111期 平成23年3月	第112期 平成24年3月	第113期 平成25年3月
売上高(百万円)	400,232	408,430	428,977	430,929	472,843
経常利益(百万円)	9,275	35,983	34,319	31,496	40,007
当期純利益(百万円)	4,042	6,217	10,012	13,391	16,625
包括利益(百万円)	-	-	2,105	19,989	41,166
純資産額(百万円)	174,485	177,615	168,414	182,916	218,131
総資産額(百万円)	351,869	357,530	338,760	363,273	418,087
1株当たり純資産額(円)	884.74	925.08	912.55	997.38	1,180.61
1株当たり当期純利益金額 (円)	25.16	38.69	62.30	83.33	103.46
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	40.41	41.58	43.29	44.12	45.38
自己資本利益率(%)	2.75	4.28	6.78	8.73	9.50
株価収益率(倍)	27.91	35.87	21.40	16.07	15.83
営業活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	31,271	48,468	50,988	32,074	42,138
投資活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	28,840	16,803	37,787	27,185	41,947
財務活動によるキャッシュ・ フロー(百万円)	431	20,946	20,023	4,604	2,812
現金及び現金同等物の 期 末残高(百万円)	19,672	30,189	22,902	23,217	21,992
従業員数 (外、平均臨時雇用者数) (人)	14,562 (1,878)	15,041 (1,544)	15,583 (1,869)	16,212 (2,108)	17,163 (2,229)

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 提出会社の経営指標等

回次 決算年月	第109期 平成21年3月	第110期 平成22年3月	第111期 平成23年3月	第112期 平成24年3月	第113期 平成25年3月
売上高(百万円)	214,471	213,499	215,663	218,295	230,263
経常利益(百万円)	13,166	21,064	22,085	23,429	25,130
当期純利益(百万円)	5,600	4,820	5,076	6,906	11,184
資本金(百万円)	14,270	14,270	14,270	14,270	14,270
発行済株式総数(千株)	160,789	160,789	160,789	160,789	160,789
純資産額(百万円)	125,613	131,245	127,940	134,190	150,807
総資産額(百万円)	196,208	228,869	211,710	227,492	248,742
1株当たり純資産額(円)	781.63	816.69	796.14	835.05	938.45
1株当たり配当額 (うち1株当たり中間配当 額)(円)	20.00 (12.00)	18.00 (8.00)	19.00 (10.00)	19.00 (9.00)	22.00 (10.00)
1株当たり当期純利益金額 (円)	34.85	30.00	31.59	42.97	69.60
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	64.02	57.35	60.43	58.99	60.63
自己資本利益率(%)	4.38	3.75	3.92	5.27	7.85
株価収益率(倍)	20.14	46.27	42.19	31.16	23.53
配当性向(%)	57.39	60.01	60.14	44.21	31.61
従業員数 (外、平均臨時雇用者数) (人)	4,307 (439)	4,387 (379)	4,277 (352)	4,205 (379)	4,176 (389)

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【沿革】

大正4年4月	小糸源六郎商店創業（東京・京橋） 鉄道信号灯用フレネルレンズの販売開始
昭和10年2月	品川工場開設
昭和11年4月	株式会社小糸製作所設立 資本金250万円
昭和18年4月	静岡工場開設
昭和24年5月	株式を東京、大阪両証券取引所に上場
昭和32年8月	小糸電機株式会社設立
昭和32年10月	オールガラス・シールドビームヘッドランプ生産・販売開始
昭和32年12月	大阪府に大阪支店開設
昭和37年1月	小糸電機株式会社を吸収合併
昭和42年4月	小糸工業株式会社へ営業の一部を譲渡
昭和43年8月	米国イリノイ州にシカゴ事務所開設
昭和45年3月	東京・港区に本社屋開設
昭和45年10月	愛知県に豊田支店開設
昭和47年7月	静岡県に航空電装・電子工場開設
昭和47年12月	広島県に広島支店開設
昭和52年8月	静岡県に榛原工場開設
昭和53年7月	ハロゲンヘッドランプ生産・販売開始
昭和54年6月	異形ヘッドランプ生産・販売開始
昭和57年4月	自動車用ハロゲン電球生産・販売開始
昭和58年4月	米国イリノイ州に「ノースアメリカンライティングインク」設立
昭和61年8月	タイ国バンコク市に「タイコイトカンパニーリミテッド」設立
昭和61年9月	静岡県に吉川工場開設
昭和61年12月	静岡県に相良工場開設
昭和62年7月	ノースアメリカンライティングインク セーラム工場開設
昭和63年3月	小糸工業株式会社 東京証券取引所市場第二部に上場
昭和63年4月	台湾「大億交通工業製造股?有限公司」へ資本参加（現・連結子会社）
平成元年2月	中国に「上海小糸車灯有限公司」設立（現・連結子会社）
平成4年5月	静岡県に富士川工機工場開設
平成5年2月	米国ミシガン州にノースアメリカンライティングインク技術センター開設
平成8年5月	英国「ブライタックスベガリミテッド」へ資本参加
平成8年7月	ディスチャージヘッドランプ生産・販売開始
平成9年3月	静岡工場に技術センター開設
平成9年4月	インドに「インディアジャパンライティングプライベートリミテッド」設立(現・連結子会社)
平成9年7月	韓国「株式会社インヒライティング」へ資本参加
平成9年10月	大億交通工業製造股?有限公司 台湾証券交易所に上場
平成10年7月	タイコイトカンパニーリミテッドを子会社化（現・連結子会社）
平成10年7月	ブライタックスベガリミテッドを子会社化
平成10年10月	ノースアメリカンライティングインクを子会社化（現・連結子会社）
平成11年4月	ブライタックスベガリミテッドを「コイトヨーロッパリミテッド」に社名変更（現・連結子会社）
平成13年3月	チェコに「コイトチェコス.r.o.」設立（現・連結子会社）
平成14年4月	上海小糸車灯有限公司技術センター開設
平成14年7月	ノースアメリカンライティングインク パリス工場開設
平成15年2月	世界初スイブル式A F S（配光可変型ヘッドランプ）生産・販売開始
平成15年4月	ディスチャージパルプ生産・販売開始
平成16年11月	ベルギーに「コイトヨーロッパN V」設立（現・連結子会社）
平成17年2月	株式会社インヒライティングをイノベティブハイテクライティングコーポレーションに社名変更
平成17年9月	中国「福州大億灯具工業有限公司」を子会社化
平成17年11月	佐賀県に「小糸九州株式会社」設立（現・連結子会社）

平成17年11月	中国に「広州小糸車灯有限公司」設立（現・連結子会社）
平成18年4月	上海小糸車灯有限公司 第3工場開設
平成18年4月	中国・上海市に中国事務所開設
平成18年7月	シールドビーム生産終了（生産累計4億3千万個）
平成18年10月	小糸九州株式会社 工場開設
平成19年3月	広州小糸車灯有限公司 工場開設
平成19年5月	世界初LEDヘッドランプ生産・販売開始
平成19年7月	ノースアメリカンライティングインク アラバマ工場開設
平成19年9月	インディアジャパンライティングプライベートリミテッド パワール工場開設
平成20年2月	福州大億灯具工業有限公司を「福州小糸大億車灯有限公司」に社名変更（現・連結子会社）
平成20年9月	小糸九州株式会社 第2工場開設
平成22年1月	東京都港区に「コイト保険サービス株式会社」設立（現・連結子会社）
平成22年6月	インドネシアに「PT. インドネシアコイト」設立（現・連結子会社）
平成23年4月	PT. インドネシアコイト 工場開設
平成23年8月	小糸工業株式会社 航空機シート事業以外の事業を、会社分割により「コイト電工株式会社」に承継（現・連結子会社）
平成23年8月	小糸工業株式会社 「KIホールディングス株式会社」に社名変更（現・連結子会社）
平成24年1月	ノースアメリカンライティングインク アラバマ第2工場開設
平成24年3月	ノースアメリカンライティングインク インディアナ金型工場開設
平成24年4月	タイコイトカンパニーリミテッド バチンブリ工場及び技術センター開設
平成24年12月	メキシコに「ノースアメリカンライティングメキシコエスエーデシーブイ」設立（現・連結子会社）
平成25年3月	インディアジャパンライティングプライベートリミテッド チェンナイ第2工場開設

### 3【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社（株式会社小糸製作所）及び子会社30社、関連会社1社、その他の関係会社1社で構成されており、自動車照明器、航空機部品、鉄道車両部品、各種電気機器、計測機器などの製造・販売、並びにこれに関連した物流などを主たる業務としております。

当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

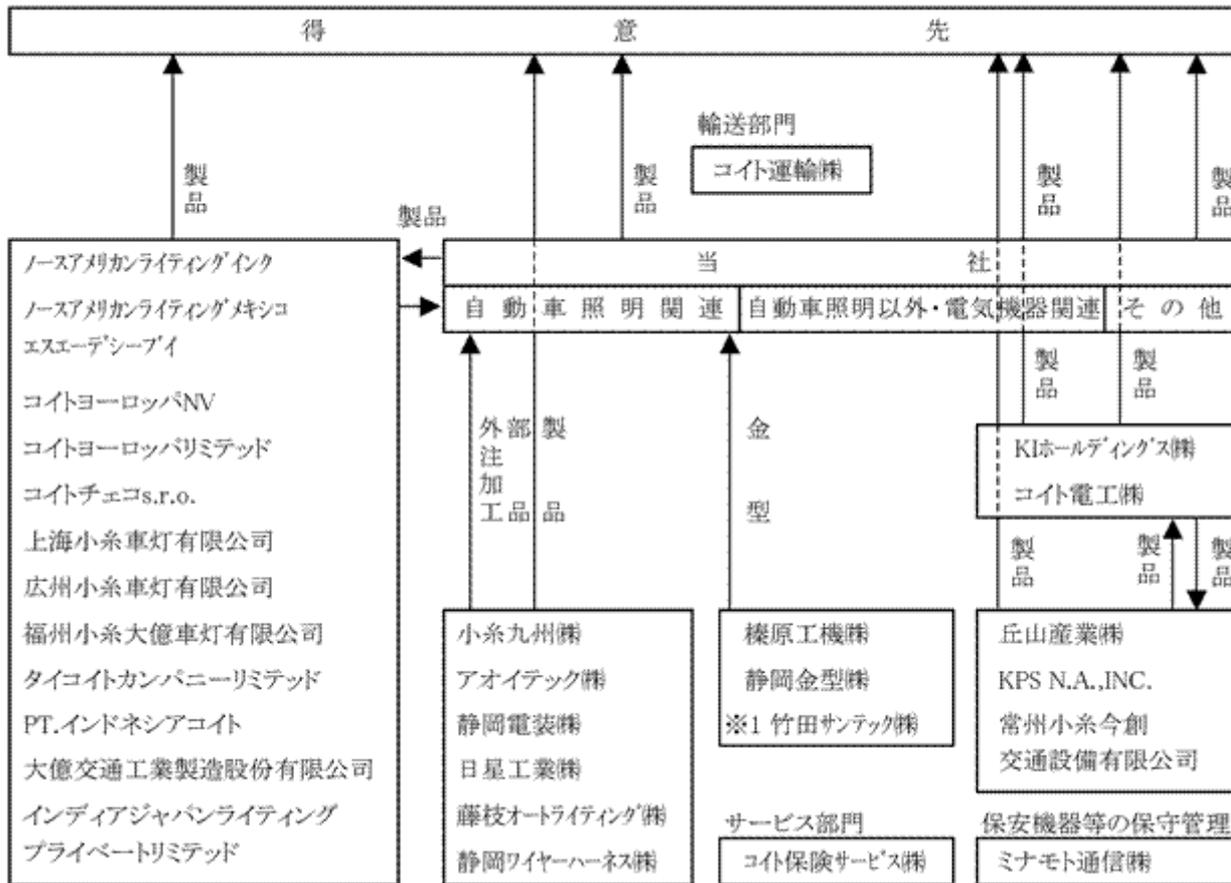
なお、次の5部門は「第5 経理の状況 1. (1)連結財務諸表 注記」に掲げるセグメントの区分と同一であります。

区分	主要製品	主要会社
日本	LEDヘッドランプ、ディスチャージヘッドランプ、前照灯並びに補助灯、標識灯、ハイマウントストップランプ、ハロゲン電球、その他各種小型電球、その他灯具、鉄道車両用制御機器、道路交通信号、交通管制システム、道路・トンネル照明、施設照明、住設機器、航空機部品・電子部品、ヘッドランプクリーナ、航空機・鉄道車両用シート、環境調節装置、輸送業務、保険業務等	当社、小糸九州(株)、KIホールディングス(株)、コイト電工(株)、コイト運輸(株)、アオイテック(株)、静岡電装(株)、日星工業(株)、藤枝オートライティング(株)、静岡ワイヤーハーネス(株)、榛原工機(株)、静岡金型(株)、コイト保険サービス(株)、ミナモト通信(株)、丘山産業(株)
北米	ディスチャージヘッドランプ、前照灯並びに補助灯、標識灯、ハイマウントストップランプ、ハロゲン電球、その他各種小型電球、その他灯具、鉄道車両用制御機器、航空機・鉄道車両用シート等	ノースアメリカンライティングインク、ノースアメリカンライティングメキシコエスエーデシーブイ、KPS N.A., INC.
中国	ディスチャージヘッドランプ、前照灯並びに補助灯、標識灯、ハイマウントストップランプ、ハロゲン電球、その他各種小型電球、その他灯具、ヘッドランプクリーナ、鉄道車両用制御機器等	上海小糸車灯有限公司、広州小糸車灯有限公司、福州小糸大億車灯有限公司、常州小糸今創交通設備有限公司

区分	主要製品	主要会社
アジア	ディスチャージヘッドランプ、前照灯並びに補助灯、標識灯、ハイマウントストップランプ、ハロゲン電球、その他各種小型電球、その他灯具等	タイコイトカンパニーリミテッド、PT.インドネシアコイト、大億交通工業製造股份有限公司、インディアジャパンライティングプライベートリミテッド
欧州	ディスチャージヘッドランプ、前照灯並びに補助灯、標識灯、ハイマウントストップランプ、ハロゲン電球、その他各種小型電球、その他灯具等	コイトヨーロッパNV、コイトヨーロッパリミテッド、コイトチェコス.r.o.

(事業系統図)

以上述べた事項を事業系統図で示すと次のとおりであります。



(注) 無印 連結子会社

なお、平成24年12月に設立したノースアメリカンライティングメキシコエスエーデシーブイを、当連結会計年度より連結子会社としております。

- 1 関連会社で持分法適用会社

4【関係会社の状況】

名称	住所	資本金 (出資金)	主要な事業の 内容	議決権の所有割合又は 被所有割合 (%)	関係内容
(連結子会社) 小糸九州(株) (注)1	佐賀県佐賀市	百万円 3,000	自動車照明機器 の製造・販売	100	同社製品の製造・販売 役員の兼任あり
コイト運輸(株)	静岡県静岡市 清水区	40	輸送業務	100	当社製品の輸送 役員の兼任あり
アオイテック(株)	静岡県浜松市 北区	100	電子・電気通信 精密機器の製造 ・販売	70	当社自動車照明機器の 製造 役員の兼任あり
静岡電装(株) (注)1 (注)3	静岡県静岡市 清水区	76	自動車照明機器 の製造・販売	100 (35)	当社自動車照明機器の 製造
日星工業(株) (注)3	静岡県静岡市 清水区	51	各種小型電球、 電気機器の製造 ・販売	62 (12)	当社製品の販売 当社自動車照明機器の 小型電球等の製造 役員の兼任あり
藤枝オートライティング(株) (注)3	静岡県藤枝市	100	自動車照明機器 の製造・販売	100 (50)	当社自動車照明機器の 製造
静岡ワイヤーハーネス(株) (注)3	静岡県静岡市 清水区	100	〃	100 (50)	〃 役員の兼任あり
榛原工機(株) (注)3	静岡県牧之原市	50	樹脂成形用金型 の製造・販売	100 (55)	当社製品の製造用樹脂 成形用金型の製造
静岡金型(株) (注)2	静岡県藤枝市	20	〃	40	〃
コイト保険サービス(株)	東京都港区	10	保険代理業	100	当社及び当社関係会社 の保険代理 役員の兼任あり
KIホールディングス(株) (注)1 (注)5 (注)6	神奈川県横浜市 戸塚区	9,214	航空機シートの 製造・販売	50	役員の兼任あり
コイト電工(株) (注)3	静岡県駿東郡	90	鉄道車両用制御 機器、道路交通 信号・交通管制 システム、鉄道 車両用シート等 の製造・販売	100 (100)	同社製品並びに設備の 購入
ミナモト通信(株) (注)3	神奈川県横浜市 戸塚区	40	信号・保安機器 の保守管理	100 (100)	子会社製品の保守・管 理
丘山産業(株) (注)3	群馬県邑楽郡	50	鉄道車両シート 等の製造・販売	51 (51)	子会社製品の製造
ノースアメリカンライティ ングインク (注)1 (注)7	米国イリノイ州	千米ドル 80,000	自動車照明機器 の製造・販売	100	同社製品を米国中心に 製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
ノースアメリカンライティ ングメキシコエスエーデ シーバイ(注)1	メキシコ サンルイスボト シ州	百万ペソ 336	〃	100	技術援助契約あり 役員の兼任あり

名称	住所	資本金 (出資金)	主要な事業の 内容	議決権の所有 割合又は 被所有割合 (%)	関係内容
コイトヨーロッパN.V. (注)3	ベルギー王国 ルーヴェン市	百万ユーロ 2	自動車照明機器 の販売	100 (10)	当社関係会社製造の自 動車照明機器を欧州各 国に販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
コイトヨーロッパリミテッ ド (注)1	英国ウースター シャー州ドロイ トウィッチ市	千英ポンド 65,000	自動車照明機器 の製造・販売	100	同社製品の製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
コイトチェコス.r.o. (注)1	チェコ共和国 ジャーテツ市	百万チェコ コルナ 1,000	"	100	同社製品の製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
上海小糸車灯有限公司 (注)1 (注)2 (注)7	中華人民共和国 上海市	百万円 7,400	"	45	同社製品を中国中心に 製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
広州小糸車灯有限公司 (注)1	中華人民共和国 広州市	百万円 4,000	"	100	同社製品を中国中心に 製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
福州小糸大億車灯有限公司 (注)3	中華人民共和国 福州市	千米ドル 9,000	"	100 (49)	同社製品を中国中心に 製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
タイコイトカンパニーリミ テッド	タイ国サムット プラカン県	千タイ パーツ 365,200	"	62	同社製品をタイ国中心 に製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
P.T.インドネシアコイト (注)1	インドネシア共 和国ウェスト ジャワ州	千米ドル 30,000	"	90	同社製品をインドネシ ア中心に製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり
大億交通工業製造股?有限 公司 (注)1 (注)2 (注)4	台湾台南市	千台湾元 762,300	"	33 [36]	当社自動車照明機器の 一部を製造している 他、同社製品を台湾中 心に製造・販売 技術援助契約あり
インディアジャパンライティ ングプライベートリミテッド (注)2	インドタミルナ ドゥ州	百万インド ルピー 700	"	50	同社製品の製造・販売 技術援助契約あり 役員の兼任あり

名称	住所	資本金 (出資金)	主要な事業の 内容	議決権の所有 割合又は 被所有割合 (%)	関係内容
KPS N.A., INC. (注) 3	米国ニューヨーク州	千米ドル 400	航空機シートの 部品販売、航空 機・鉄道車両 シートのメンテ ナンス、鉄道車 両シート、鉄道 車両用電装品の 製造・販売	100 (100)	同社製品を米国中心に 製造・販売
常州小糸今創交通設備有限 公司 (注) 2 (注) 3	中華人民共和国 常州市	百万円 200	鉄道用電装品の 製造・販売	50 (50)	同社製品を中国に製造 ・販売
(持分法適用関連会社) 竹田サンテック(株)	静岡県静岡市 駿河区	百万円 15	樹脂成形用金型 の製造・販売	20	当社製品の製造用樹脂 成形用金型の製造
(その他の関係会社) トヨタ自動車(株) (注) 5	愛知県豊田市	百万円 397,049	自動車および同 部品の製造・販 売	(被所有) 20	当社自動車照明機器を 販売

- (注) 1. 特定子会社に該当します。  
2. 持分は、100分の50以下であるが、実質的に支配しているため子会社としたものであります。  
3. 議決権の所有割合の( )内は、子会社が所有する当該関係会社の所有割合で内数となっております。  
4. 議決権の所有割合の[ ]内は、緊密な者又は同意している者の所有割合で外数となっております。  
5. 有価証券報告書を提出しております。  
6. 連結子会社K Iホールディングス(株)は、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして「継続企業の前提に関する事項の注記についてのお知らせ」を平成24年10月24日に開示しております。  
7. 売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く。)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等

名称	主要な損益情報等				
	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	純資産額 (百万円)	総資産額 (百万円)
ノースアメリカンライ ティングインク	57,116	1,763	1,270	17,065	34,013
上海小糸車灯有限公司	74,980	4,656	4,036	18,515	49,992

## 5【従業員の状況】

### (1)連結会社の状況

平成25年3月31日現在

セグメントの名称	従業員数(人)	
日本	7,065	(957)
北米	3,463	(295)
中国	2,350	( - )
アジア	3,343	(976)
欧州	848	(1)
全社(共通)	94	
合計	17,163	(2,229)

- (注) 1. 従業員数は、就業人員数(当社グループからグループ外への出向者を除く。)であり、臨時従業員数は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。
2. 臨時従業員には、期間工、パート及び嘱託契約(シニア社員等)の従業員を含み、派遣社員を除いております。
3. 全社(共通)として記載されている従業員数は、本社管理部門に所属しているものであります。

### (2)提出会社の状況

平成25年3月31日現在

従業員数(人)	平均年齢	平均勤続年数	平均年間給与(円)
4,176 (389)	41才5ヶ月	20年2ヶ月	6,272,977

- (注) 1. 従業員数は、就業人員数(当社から社外への出向者を除く。)であり、臨時従業員数は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。
2. 従業員全てがセグメント区分「日本」及び「全社(共通)」に属しております。
3. 臨時従業員には、期間工、パート及び嘱託契約(シニア社員等)の従業員を含み、派遣社員を除いております。
4. 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。

### (3)労働組合の状況

当社の労働組合は、小糸製作所労働組合(組合員3,671名)と称し、上部組織である「JAM静岡」に加盟しております。また連結子会社のK Iホールディングス(株)は、K Iホールディングス労働組合(組合員777名)と称し、上部組織「JAM神奈川」に加盟しております。その他子会社は独自に組合を組織している会社もあります。なお、労使関係について特に記載すべき事項はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

#### (1)業績

当期における我が国の経済情勢は、震災の復興需要や補助金等もあり内需は堅調でありましたが、外需は円高、日中関係の悪化等から伸び悩み、経済成長は低調に推移いたしました。世界においては、米国では景気回復の兆しも見られましたが、金融不安に伴う欧州の景気低迷、金融引き締めによるアジア・中南米等の景気減速、中東情勢不安等々により、総じて世界の経済成長は鈍化いたしました。

自動車産業におきましては、国内自動車生産は、震災復興需要及びエコカー補助金等により、前期に比べ増加いたしました。海外では、欧州が需要減退により減産となるなか、北米や、タイ、インドネシア等新興国での生産拡大により、世界の自動車生産台数は前年に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、中長期的な自動車照明器の売上拡大に向け、海外生産能力の増強、製品開発力の強化、及び積極的な受注活動を展開してまいりました。

昨年1月に米国ノースアメリカンライティングインクのアラバマ第2工場、3月に金型工場(インディアナ州)が稼働、4月にタイコイトカンパニーリミテッドのパチンプリ工場(第4工場)、及び技術センターが稼働いたしました。さらに本年3月にはインドア・ジャパン・ライティングのチェンナイ第2工場が稼働いたしました。

当期における連結売上高は、主力の自動車照明事業が大幅増収となり、前期比9.7%増の4,728億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

#### 【日本】

自動車生産が、震災の復興需要及びエコカー補助金等により大幅増産となったことから、売上高は前期比2.7%増の2,615億円となりました。

#### 【北米】

自動車需要の回復に伴う生産増加や、現地自動車メーカー向けの受注拡大等により、売上高は前期比54.5%増の628億円となりました。

#### 【中国】

経済成長鈍化により自動車需要が伸び悩むなか、日中関係の悪化により日本車の生産が減少したものの、現地自動車メーカー向けの受注活動強化や拡販に努めた結果、売上高は前期比7.5%増の940億円となりました。

#### 【アジア】

タイにおける自動車生産が大幅に増加するとともに、インドネシアでの二輪車・四輪車生産が順調に推移し、売上高は前期比29.5%増の427億円となりました。

#### 【欧州】

欧州経済の低迷、域内自動車販売の不振等により生産量が減少し、売上高は前期比22.8%減の115億円となりました。

利益につきましては、国内外における自動車生産の増加に伴う大幅増収に加え、海外新工場の稼働も寄与、更に原価低減諸施策を強力に推進したことから、営業利益は前期比18.7%増の376億円、経常利益は前期比27.0%増の400億円となりました。当期純利益は、独占禁止法違反にかかる課徴金引当金繰入額34億円の特別損失計上がありましたものの、前期比24.2%増の166億円となりました。

## (2) キャッシュ・フロー

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益330億円（前期比21.8%増）及び減価償却費178億円（同8.7%減）等により資金を確保し、設備投資271億円（同18.2%増）、定期預金の預け入れ178億円（同362.8%増）及び配当金54億円（同18.8%増）の支払等により、前連結会計年度に比べ12億円減少し、219億円（前連結会計年度末比5.3%減）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益330億円（前期比21.8%増）、減価償却費178億円（同8.7%減）を主体に537億円（同22.6%増）となり、法人税等を支払った結果、421億円（同31.4%増）の資金を確保いたしました。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預け入れ178億円（前期比362.8%増）、設備投資271億円（同18.2%増）等を実施した結果、419億円（同54.3%増）の支出となりました。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金54億円（前期比18.8%増）等を支払った結果、28億円（同38.9%減）の支出となりました。

## 2【生産、受注及び販売の状況】

### (1)生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	前年同期比(%)
日本(百万円)	357,985	105.9
北米(百万円)	57,960	141.8
中国(百万円)	96,147	105.9
アジア(百万円)	47,605	128.7
欧州(百万円)	23,987	83.2
合計(百万円)	583,686	109.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

### (2)受注状況

当社グループの生産・販売品目は広範囲かつ多種多様であり、同種の製品であっても構造・形式等は必ずしも一様ではありません。また自動車メーカーの組付用が大部分で、各納入先より2～3カ月前より指定車種の生産計画の内示を受け生産予想をたてますが、実際の納入は、メーカーの翌日または旬日に合わせた指示により、ライン納入している状況であります。従って内示と実際とは異なる場合もあり、受注高及び受注残高を算出することは困難であります。また補修品については、販売計画に基づき見込み生産を行っております。

なお、連結子会社コイト電工(株)は、受注による営業活動が主体となっており、その受注高及び受注残高は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
日本	34,765	74.3	8,074	91.1

- (注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

### (3)販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	前年同期比(%)
日本(百万円)	261,568	102.7
北米(百万円)	62,869	154.5
中国(百万円)	94,070	107.5
アジア(百万円)	42,798	129.5
欧州(百万円)	11,536	77.2
合計(百万円)	472,843	109.7

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 最近2連結会計年度の主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)		当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
トヨタ自動車(株)	104,384	24.2	116,964	24.7

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 3【対処すべき課題】

#### (1) 当社グループの現状の認識について

当期における我が国の経済情勢は、震災の復興需要や補助金等もあり内需は堅調でありましたが、外需は円高、日中関係の悪化等から伸び悩み、経済成長は低調に推移いたしました。世界においては、米国では景気回復の兆しも見られましたが、金融不安に伴う欧州の景気低迷、金融引き締めによるアジア・中南米等の景気減速、中東情勢不安等々により、総じて世界の経済成長は鈍化いたしました。

当社グループは、世界5極での開発・生産体制を有するグローバルサプライヤーとして、今後とも受注活動の強化、生産性向上、相互供給・相互補完に加え、原価低減諸施策のさらなる展開を図り、業績向上に取り組んで参る所存であります。

#### (2) 当面の対処すべき課題の内容

当社グループは、グローバルサプライヤーとして、世界の自動車産業動向等に柔軟に対応できる開発・生産・販売体制の確立、及び経営体制・組織の再編・強化と、企業活動の内部統制充実が課題であります。

これに対処すべく、市場・得意先ニーズを先取りした新技術・新製品開発、環境保全等に加え、生産性向上、原価低減、品質向上活動など、経営体質強化に努めてまいります。

本年3月22日、当社は自動車用ランプの取引に関し独占禁止法に違反する行為があったとして、公正取引委員会から排除措置命令及び課徴金納付命令を受けました。当社といたしましては、こうした事態を厳粛に受け止め、本年4月23日付けで開示しておりますとおり取締役及び監査役は月額報酬の一部を自主返上するとともに、当社の信頼回復に向け再発防止とコンプライアンス強化に取り組んでまいります。

内部統制につきましては、すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、企業倫理の重要性を認識し、経営の健全性、経営の意思決定と業務執行の透明性・公正性を確保すべく、コーポレートガバナンスの充実、及び法令遵守の徹底に努めてまいります。

#### (3) 対処方針

当社グループは、「安全を光に託して」をテーマとしてお客様のニーズを創造し、社会の進歩発展に貢献するとともに、株主・お客様・従業員・取引先等すべてのステークホルダーとの共存共栄を図ることを経営の基本方針としております。また、CSR（企業の社会的責任）の観点から、信頼される企業を目指し、コンプライアンス強化、環境保全活動、社会貢献活動に取り組んでまいります。

#### (4) 具体的な取組状況等

当社グループがさらなる発展をとげていくための取り組み状況は次のとおりであります。

自動車産業の世界最適生産の拡大に対応すべく、海外における開発・生産・販売部門を更に強化するなど、グローバル5極体制（日本・北米・欧州・中国・アジア）の充実を図る。

お客様・市場ニーズを先取りした先端技術の開発と迅速な商品化を図り、タイムリーに魅力ある商品を提供する。

高品質・安全性を追求するとともに、環境保全及びコンプライアンス強化を推進する。

経営資源の確保と有効活用により、収益構造・企業体質の更なる強化を図る。

上記に関する具体的諸施策を講じ、株主・お客様・従業員・取引先の満足度向上、環境保全及び内部統制充実に向け努力していく所存であります。

#### (5) 会社の支配に関する基本方針について

当社は、当社の財務及び事業の方針の決定を支配する者は、当社の財務及び事業の内容や当社の企業価値の源泉を十分に理解し、当社の企業価値ひいては株主の皆様との共同の利益を継続的かつ持続的に確保、向上していくことを可能とする者である必要があると考えております。

当社は、金融商品取引所に株式を上場している者として、市場における当社株式の自由な取引を尊重し、特定の者による当社株式の大規模買付行為であっても、当社グループの企業価値ひいては株主共同の利益の確保・向上に資するものである限り、これを一概に否定するものではありません。また、最終的には株式の大規模買付提案に応じるかどうかは株主の皆様のご決定に委ねられるべきものであると考えております。

ただし、株式の大規模買付提案の中には、たとえばステークホルダーとの良好な関係を保ち続けることができない可能性があるなど、当社グループの企業価値ひいては株主共同の利益を損なうおそれのあるものや、当社グループの価値を十分に反映しているとは言えないもの、あるいは株主の皆様が最終的な決定をされるために必要な情報が十分に提供されないものもありえます。

そのような提案に対して、当社取締役会は、株主の皆様から負託された者の責務として、株主の皆様のために、必要な時間や情報の確保、株式の大規模買付提案者との交渉などを行う必要があると考えております。

当社は、企業価値の拡大・最大化を実現するため、上記（４）に記載の取組みを行っております。当該取組みを着実に実行することにより、当社の持つ経営資源を有効に活用すると共に、様々なステークホルダーとの良好な関係を維持・発展させ、当社及び当社グループの企業価値ひいては株主共同の利益の向上に資することができると考えております。なお、この取組みは、当社の企業価値を継続的かつ持続的に向上させるものとして策定されていることから、基本方針に沿っており、株主共同の利益を損なうものではなく、かつ当社役員の地位の維持を目的とするものではないと、取締役会は判断しております。

#### 4【事業等のリスク】

当社グループの経営成績・株価及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のある事項には以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項は有価証券報告書提出日（平成25年6月28日）現在において当社が判断したものであります。

##### （1）経済状況

当社グループの全世界における営業収入のうち、重要な部分を占める自動車照明関連製品の需要は当社グループが製品を販売している国又は地域の経済状況の影響を受けます。従って、日本・北米・中国・アジア・欧州を含む当社グループの主要市場における景気後退及び、それに伴う需要の縮小は当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### （2）法的規制

当社グループの主要製品である自動車照明器は、日本国内のみならず事業展開する各国において、自動車の重要な保安部品として道路運送車両法、保安基準等の様々な法的規制を受けております。従って、予期せぬ法的規制の変更が生じた場合、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### （3）為替相場の変動

当社グループの事業には、全世界における製品の生産と販売が含まれております。各地域における売上・費用・資産・負債等を含む現地通貨建ての項目は連結財務諸表作成のため円換算されております。従って、換算時の為替相場により、これらの項目は、現地通貨で変動がない場合でも円換算後の価額に影響を及ぼす可能性があります。一般に、他の通貨に対する円高は当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### （4）海外進出に潜在するリスク

当社グループの生産及び販売活動のうち、海外依存度は急激に高まっており、これらの海外市場への事業進出に内在しているリスクは下記のとおりであります。

- 予期しない法律または規則の変更
- 不利な政治または経済要因
- テロ、戦争、その他の要因による社会的混乱

##### （5）製品の欠陥

当社グループは、日本国内及び事業展開する各国において認められている品質管理基準に従って製品を製造しておりますが、将来にわたって全ての製品に欠陥がなくリコール等に伴う費用が発生しないという保証はありません。そのため製品の欠陥に伴い、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### （6）原材料の価格変動

当社グループは原材料価格の変動リスクに直面しております。特に主要原料である樹脂材料は、原油価格相場の高騰によって調達コストが増大する可能性があり、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### （7）自然災害等

地震・津波や台風等の自然災害によって、当社グループあるいは得意先、仕入先の生産・物流・販売等の拠点が被害を被るリスクがあります。当社グループとして災害防止活動や設備点検を行っておりますが、これら災害による影響を完全に防止できる保証はありません。特に日本における製造拠点の多くが静岡県に集中しており、また、中部電力浜岡原子力発電所の近郊に所在している工場があるため、万一大規模な災害が発生した場合、当社グループにおける自動車照明器等の生産能力が著しく低下する可能性があり、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

##### （8）その他

当社は、本年3月に、自動車用ランプの取引に関し独占禁止法に違反する行為があったとして、公正取引委員会から排除措置命令及び課徴金納付命令を受けております。当社グループは、グローバルサプライヤーとして、世界各国に事業を展開しており、国内外の競争法の適用を受けております。その結果、各種命令や法的措置を受けた場合には、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

## 5【経営上の重要な契約等】

### (1)技術援助等を受けている契約

相手方の名称	国名	契約品目	契約内容	契約期間
PTI Technologies Inc.	米国	航空機用フィルター	技術情報の提供 製造、販売権の許諾	平成14年1月1日から 16年間

(注) 上記についてはロイヤルティーとして一定額又は売上高の一定率を支払っております。

### (2)技術援助等を与えている契約

相手方の名称	国名	契約品目	契約内容	契約期間
Hella Automotive Mexico S.A. de C.V.	メキシコ	自動車用照明器	技術情報の提供 製造、販売権の許諾	平成4年4月22日から 22年間
Industrias Arteb S.A.	ブラジル	〃	〃	平成18年12月12日から 10年間
Farba Otomotiv Aydinlatma ve Plastik Fabrikalari A.S.	トルコ	〃	〃	平成9年10月24日から 18年間
Automotive Lighting UK Ltd.	英国	〃	〃	平成5年2月24日から 21年間
Hella Australia Pty Ltd.	オーストラ リア	〃	〃	平成6年5月1日から 20年間
Lumotech (Pty.) Ltd.	南アフリカ	〃	〃	平成18年5月4日から 10年間
EP Polymers (M) Sdn.Bhd.	マレーシア	〃	〃	平成7年4月29日から 20年間
AuVitronics Ltd.	パキスタン	〃	〃	平成17年3月7日から 10年間
AMS CO., LTD.	韓国	〃	〃	平成25年1月16日から 7年間
AVTOSVET Limited Liability Company	ロシア	〃	〃	平成25年3月21日から 5年間

(注) 上記についてはロイヤルティーとして一定額又は売上高の一定率を受け取っております。

## 6【研究開発活動】

当社グループは、新しい技術を創造する研究開発と、それを商品化する技術開発を中心にエレクトロニクス等の先端技術を駆使して安全性の向上を追求した独創的なシステム化・複合商品の開発を行っております。また、環境問題への対応等からリサイクル化、無公害材料、工法等の開発を進めております。

当社グループの研究開発は、小糸製作所技術センター(日本)を中心に、ノースアメリカンライティングインク技術センター(北米)、コイトヨーロッパNV技術セクション(欧州)、上海小糸車灯有限公司技術センター(中国)と、平成24年4月に開設したタイコイトカンパニーリミテッド技術センター(アジア)の世界5極体制にて展開しています。グループ全体の研究開発スタッフは、平成25年3月末時点で2,316名であります。

当連結会計年度における各セグメント別の研究目的等は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度の研究開発費の総額は200億円であり、セグメント別の研究開発費は、日本119億円、北米33億円、中国26億円、アジア18億円、欧州3億円であります。

### (1) 日本

- 自動車照明器のコア技術(光学、電子、機構、構造等)の開発
- 生産技術の開発
- シミュレーション技術の開発
- 鉄道車両関連電装品の開発
- ITS関連機材としてのシステム開発
- インターネットを応用したシステム開発
- 照明器以外の自動車部品の開発
- 航空機部品の開発
- 新規事業分野の新商品開発 等

### (2) 北米、中国、アジア及び欧州

- 自動車照明器のコア技術(光学、電子等)の開発
- 生産技術の開発

## 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 財政状態の分析

#### (資産)

当連結会計年度末における資産の残高は、現金及び預金等の増加により、流動資産が増加したのに加え、海外生産増強に伴う新工場建設等設備投資もあり、前期末に比べ548億円増加の4,180億円となりました。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債の残高は、支払手形及び買掛金等の増加により、前期末に比べ195億円増加の1,999億円となりました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、当期純利益により利益剰余金が増加したのに加え、その他の包括利益累計額の増加もあり、前期末に比べ352億円増加の2,181億円となりました。

### (2) キャッシュ・フローの分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益330億円、減価償却費178億円を主体に537億円となり、法人税等を支払った結果、421億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預け入れ178億円、設備投資271億円等を実施した結果、419億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金54億円等を支払った結果、28億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ12億円減少の219億円となりました。

### (3) 経営成績の分析

当連結会計年度における売上高は、主力の自動車照明事業が大幅増収となり、前期比9.7%増の4,728億円となりました。利益につきましては、国内外における自動車生産の増加に伴う大幅増収に加え、海外新工場の稼働も寄与、更に原価低減諸施策を強力に推進したことから、営業利益は前期比18.7%増の376億円、経常利益は前期比27.0%増の400億円となりました。当期純利益は、独占禁止法違反にかかる課徴金引当金繰入額34億円の特別損失計上がありましたものの、前期比24.2%増の166億円となりました。

### 第3【設備の状況】

#### 1【設備投資等の概要】

当社グループでは、生産の合理化並びに更新、製品の高品質化、原価低減などを目的として日本を中心に222億円の設備投資を実施いたしました。当連結会計年度の設備投資（金額には消費税等は含まない。）の内訳は次のとおりであります。

日本では83億円、北米では36億円、中国では22億円、アジアでは72億円、欧州では8億円の設備投資を実施いたしました。

また、所要資金は自己資金並びに借入金によっております。

当連結会計年度において重要な設備の除却・売却等はありません。

#### 2【主要な設備の状況】

当社グループにおける主要な設備は、次のとおりであります。

##### (1)提出会社

平成25年3月31日現在

事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	帳簿価額(百万円)					従業員数 (人)
			建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積㎡)	その他	合計	
静岡工場 (静岡県静岡市清水区)	日本	自動車照明器 製造設備	4,137	1,007	493 (97,756)	1,209	6,846	2,649 (266)
榛原工場 (静岡県牧之原市)	日本	自動車照明器 製造設備	1,358	259	1,842 (134,806)	671	4,131	616 (45)
相良工場 (静岡県牧之原市)	日本	自動車照明器 製造設備	1,006	319	601 (45,506)	421	2,349	474 (32)
富士川工機工場 (静岡県富士市)	日本	自動車照明器 製造設備	299	90	- (-)	4	394	127 (17)
本社 (東京都港区)	日本	会社統轄業務	227	26	73 (1,901)	12	339	127 (1)

##### (2)国内子会社

平成25年3月31日現在

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	帳簿価額(百万円)					従業員数 (人)
				建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積㎡)	その他	合計	
小糸九州㈱	(佐賀県佐賀市)	日本	自動車照明 器製造設備	334	2,541	- (-)	596	3,471	704 (146)
K Iホールディ ングス㈱	本社工場 (神奈川県横浜 市戸塚区)	日本	シート等開 発・生産設 備	1,605	24	421 (31,886)	34	2,086	105 (3)
K Iホールディ ングス㈱	富士長泉工場 (静岡県駿東郡)	日本	シート等開 発・生産設 備	1,916	5	2,243 (44,955)	26	4,191	- (-)
アオイテック㈱	(静岡県浜松市 北区)	日本	自動車照明 器製造設備 他	386	443	372 (11,747)	107	1,310	133 (87)
静岡電装㈱	(静岡県静岡市 清水区)	日本	自動車照明 器製造設備	217	142	462 (6,669)	139	962	216 (70)

(3)在外子会社

平成25年3月31日現在

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	帳簿価額(百万円)					従業員数 (人)
				建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積㎡)	その他	合計	
ノースアメリカン ライティングイン ク	(米国イリノイ 州)	北米	自動車照明器 製造設備	5,006	9,126	9 (475,013)	278	14,420	3,459 (158)
コイトヨーロッパ リミテッド	(英国ウースター シャー州)	欧州	自動車照明器 製造設備	113	1,041	- (-)	112	1,267	301 (-)
コイトチェコス. r. o.	(チェコ共和国 ジャーテツ市)	欧州	自動車照明器 製造設備	1,629	828	25 (63,768)	114	2,598	522 (-)
上海小糸車灯有限 公司	(中華人民共和国 上海市)	中国	自動車照明器 製造設備	3,549	4,648	- (-)	2,752	10,950	952 (-)
広州小糸車灯有限 公司	(中華人民共和国 広州市)	中国	自動車照明器 製造設備	820	2,238	- (-)	815	3,874	850 (-)
タイコイトカンパ ニーリミテッド	(タイ国サムット プラコン県)	アジア	自動車照明器 製造設備	2,843	3,342	566 (144,800)	1,558	8,311	1,942 (-)
P.T.インドネシ アコイト	(インドネシア共 和国ウェストジャ ワ州)	アジア	自動車照明器 製造設備	1,009	1,175	237 (80,762)	296	2,720	128 (-)
大億交通工業製造 股?有限公司	(台湾台南市)	アジア	自動車照明器 製造設備	193	560	1,893 (35,610)	141	2,789	695 (65)
インディアジャバ ンライティングブ ライベートリミ テッド	(インドタミルナ ドゥ州)	アジア	自動車照明器 製造設備	519	1,471	94 (101,700)	19	2,105	578 (520)

(注) 1. 帳簿価額のうち「その他」は、工具器具及び備品であり、建設仮勘定は含まれておりません。

なお、金額には消費税等は含まれておりません。

2. 提出会社の富士川工機工場中の土地は借用(19,919㎡)であります。
3. 国内子会社の小糸九州㈱は、上記の他に提出会社より建物及び構築物、土地(面積126,941㎡)を借用してお  
ります。
4. 従業員数の( )は、臨時従業員数を外書しております。
5. 上記の他、(3)在外子会社のうち主要なリース設備として、以下のものがあります。

平成25年3月31日現在

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	年間リース料 (百万円)
ノースアメリカンライティング インク	(米国イリノイ州)	北米	建屋及び自動車照明器 製造設備(リース)	261

### 3【設備の新設、除却等の計画】

当社グループの設備投資については、景気予測、業界動向、投資効率等を総合的に勘案して策定しております。設備計画は原則的に連結会社各社が個別に策定しております。

なお、当連結会計年度末現在における重要な設備の新設、改修の計画は次のとおりであります。

#### (1)重要な設備の新設

会社名 事業所名	所在地	セグメントの 名称	主な設備の 内容	投資予定金額		資金 調達方法	着手及び完了予定年月	
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了
当社静岡工場	静岡県静岡市 清水区	日本	自動車照明器 製造設備他	3,876	-	自己資金	平成25.4	平成26.3
当社榛原工場	静岡県牧之原 市	日本	自動車照明器 製造設備他	1,474	-	自己資金	平成25.4	平成26.3
小糸九州(株)	佐賀県佐賀市	日本	自動車照明器 製造設備他	3,190	510	自己資金	平成25.3	平成26.3
ノースアメリ カンライティ ングインク	米国イリノイ 州	北米	自動車照明器 製造設備他	10,216	2,931	自己資金 及び借入金	平成25.3	平成26.3
ノースアメリ カンライティ ングメキシコ エスエーデ シーブイ	メキシコサン ルイスポトシ 州	北米	自動車照明器 製造設備他	2,569	601	自己資金 及び借入金	平成25.3	平成26.3
広州小糸車灯 有限公司	中華人民共和 国広州市	中国	自動車照明器 製造設備他	7,795	4,457	自己資金 及び借入金	平成25.3	平成26.3
タイコイトカ ンパニーリミ テッド	タイ国サムッ トプラカン県	アジア	自動車照明器 製造設備他	2,323	1,630	自己資金	平成25.3	平成26.3

- (注) 1. 上記設備の新設は、工場建築、生産能力増強、生産性向上、及び経常的な更新が中心であります。  
2. 経常的な設備の更新のための除却等を除き、重要な除却等の計画はありません。  
3. 金額には消費税等は含まれておりません。

#### (2)重要な改修

当連結会計年度末現在における重要な改修計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	320,000,000
計	320,000,000

##### 【発行済株式】

種類	事業年度末現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年6月28日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	160,789,436	160,789,436	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は 1,000株
計	160,789,436	160,789,436	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成8年3月31日	336	160,789	102	14,270	102	17,107

(注) 転換社債の株式転換による増加(平成7年4月1日~平成8年3月31日)であります。

(6) 【所有者別状況】

平成25年3月31日現在

区分	株式の状況(1単元の株式数1,000株)							単元未満 株式の状況 (株)	
	政府及び地 方公共団体	金融機関	金融商品取 引業者	その他の法 人	外国法人等		個人その他		計
					個人以外	個人			
株主数(人)	-	55	26	347	276	3	3,987	4,694	-
所有株式数 (単元)	-	62,452	800	50,603	36,618	6	10,034	160,513	276,436
所有株式数の 割合(%)	-	38.91	0.50	31.53	22.81	0.00	6.25	100.00	-

(注) 1. 自己株式91,522株は「個人その他」に91単元、「単元未満株式の状況」に522株を含めて記載してあります。

2. 上記「その他の法人」の欄には、(株)証券保管振替機構名義の株式が1単元含まれております。

(7)【大株主の状況】

平成25年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の 割合(%)
トヨタ自動車(株)	愛知県豊田市トヨタ町1	32,158	20.00
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	7,368	4.58
日本スタートラスト信託 銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	6,585	4.10
日本生命保険(相)	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	5,979	3.72
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	5,455	3.39
(株)三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	5,442	3.38
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	5,154	3.21
第一生命保険(株)	東京都中央区晴海1丁目8-12	4,000	2.49
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス ア カウント	東京都中央区月島4丁目16-13	3,950	2.46
(株)デンソー	愛知県刈谷市昭和町1丁目-1	3,000	1.87
計	-	79,093	49.19

三井住友信託銀行(株)からの平成25年1月21日付変更報告書により、平成25年1月15日現在で三井住友信託銀行(株)他2名の共同保有者が、以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として期末時点における実質所有株式数の確認ができておりません。

なお、当該変更報告書の内容は以下のとおりです。

氏名または名称	保有株式の数(株)	保有割合 (%)
三井住友信託銀行(株)	6,209,000	3.86
三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)	169,000	0.11
日興アセットマネジメント(株)	314,000	0.20
合計	6,692,000	4.16

( 8 ) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 91,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 160,422,000	160,422	-
単元未満株式	普通株式 276,436	-	1単元(1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	160,789,436	-	-
総株主の議決権	-	160,422	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、(株)証券保管振替機構名義の株式1,000株(議決権の数1個)が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)小糸製作所	東京都港区	91,000	-	91,000	0.06
計	-	91,000	-	91,000	0.06

( 9 ) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 2【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 会社法第155条第7号に該当する普通株式の取得

### (1)【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

### (2)【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

### (3)【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

区分	株式数(株)	価額の総額(円)
当事業年度における取得自己株式	842	1,020,681
当期間における取得自己株式	100	208,984

(注) 当期間における取得自己株式には、平成25年6月1日からこの有価証券報告書提出日までに取得した自己株式は含まれておりません。

### (4)【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

区分	当事業年度		当期間	
	株式数(株)	処分価額の総額(円)	株式数(株)	処分価額の総額(円)
引き受ける者の募集を行った取得自己株式	-	-	-	-
消却の処分を行った取得自己株式	-	-	-	-
合併、株式交換、会社分割に係る移転を行った取得自己株式	-	-	-	-
その他(単元未満株式の売渡請求による売渡)	-	-	-	-
保有自己株式数	91,522	-	91,622	-

(注) 当期間における保有自己株式数には、平成25年6月1日からこの有価証券報告書提出日までの単元未満株式の買取りによる株式は含まれておりません。

### 3【配当政策】

当社の利益配分については、安定的かつ継続的な配分を基本に、業績および経営環境等を総合的に勘案し、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

(当社は、「取締役会の決議により、毎年9月30日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。)

なお、当社の期末配当金については、1株につき普通配当12円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は、22円を実施することを決定いたしました。この結果、当期の配当性向は31.6%となりました。

内部留保資金については、今後の事業展開、新技術・新商品開発、合理化・原価低減に活用し、収益の向上をはかり、株主の皆様ごの期待に応えるよう努力してまいります。

なお、当事業年度に係る剰余金の配当は以下のとおりであります。

決議年月日	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)
平成24年10月26日 取締役会決議	1,606	10
平成25年6月27日 定時株主総会決議	1,928	12

### 4【株価の推移】

#### (1)【最近5年間の事業年度別最高・最低株価】

回次 決算年月	第109期 平成21年3月	第110期 平成22年3月	第111期 平成23年3月	第112期 平成24年3月	第113期 平成25年3月
最高(円)	1,605	1,691	1,579	1,461	1,690
最低(円)	450	699	983	975	832

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

#### (2)【最近6月間の月別最高・最低株価】

月別	平成24年10月	11月	12月	平成25年1月	2月	3月
最高(円)	998	1,168	1,259	1,556	1,579	1,690
最低(円)	832	980	1,113	1,215	1,421	1,483

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

5【役員の状況】

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (千株)
取締役会長 (代表取締役)		大嶽 隆司	昭和14年9月15日生	昭和37年4月 当社入社 昭和51年4月 管理部長兼海外部長 昭和54年6月 取締役 昭和58年6月 常務取締役 昭和60年6月 専務取締役 平成4年7月 代表取締役副社長 平成15年6月 代表取締役社長 平成19年6月 代表取締役会長(現在)	(注)5	109
取締役社長 (代表取締役)		大嶽 昌宏	昭和22年3月15日生	昭和52年4月 当社入社 昭和61年4月 経理部長 昭和62年6月 取締役 平成5年6月 常務取締役 平成11年6月 専務取締役 平成12年6月 小糸工業(株)監査役 平成14年1月 ノースアメリカンライティング インク取締役会長(CEO) 平成17年6月 代表取締役副社長 平成19年6月 代表取締役社長(現在)	(注)5	86
取締役副社長 (代表取締役)	技術本部長、 知的財産部・ 研究所・豊田 設計部・新事 業推進部・シ ステム商品企 画室・開発推 進部担当	横矢 雄二	昭和25年1月21日生	昭和50年4月 トヨタ自動車工業(株)(現トヨタ自 動車(株))入社 平成8年1月 同社第2車両技術部部长 平成12年1月 同社第3開発センターチーフエン ジニア 平成15年6月 同社レクサス企画部部长 平成17年5月 当社常勤顧問 平成17年6月 常務取締役 平成21年6月 専務取締役 平成23年6月 代表取締役副社長(現在)	(注)5	7
取締役副社長 (代表取締役)	生産本部長、 人事部・静岡 総務部・調達 部・電子製造 部・航空機器 事業部・光源 事業部担当	榊原 公一	昭和27年1月22日生	昭和50年4月 当社入社 平成11年6月 製品開発部部长 平成13年4月 システム商品企画室長兼務 平成13年6月 取締役 平成19年6月 常務取締役 平成21年6月 専務取締役 平成25年6月 代表取締役副社長(現在)	(注)5	15
取締役副社長 (代表取締役)	国際本部長、 国際管理部・ 中国部・米州 部担当	三原 弘志	昭和30年2月19日生	昭和53年4月 当社入社 平成12年4月 アジア部長 平成15年6月 取締役 平成18年6月 常務取締役 平成23年6月 専務取締役 平成25年6月 代表取締役副社長(現在)	(注)5	9
専務取締役	国際本部副本 部長、欧州部 担当、コイト チェコス.r.o. 取締役社長、 コイトヨー ロッパリミ テッド取締 役会長、コイト ヨーロッパ N.V.取締 役会長	植木 和雄	昭和25年2月4日生	昭和43年4月 当社入社 平成10年4月 生産管理部副部長 平成11年10月 海外企画部主査兼生産管理部主査 平成17年1月 コイトヨーロッパリミテッド取締 役社長 平成17年6月 取締役 平成19年6月 常務取締役 平成21年6月 コイトチェコス.r.o.取締役社長 (現在) コイトヨーロッパリミテッド取締 役会長(現在) コイトヨーロッパN.V.取締役社長 平成23年6月 専務取締役(現在) 平成25年6月 コイトヨーロッパN.V.取締役会長 (現在)	(注)5	3

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (千株)
専務取締役	技術本部副本部長、国際本部副本部長、品質保証部・製品開発部・静岡設計部・アジア部担当	有馬 健司	昭和29年9月11日生	昭和52年4月 当社入社 平成14年10月 設計技術部主管兼欧州テクニカルセンター所長 平成17年1月 コイトヨーロッパN.V.取締役 平成17年6月 取締役 平成23年6月 常務取締役 平成24年6月 取締役常務執行役員 平成25年6月 専務取締役(現在)	(注)5	6
専務取締役	営業本部長、総務部・部品用品企画部担当	川口 洋平	昭和26年5月9日生	昭和49年4月 当社入社 平成14年4月 調達部長 平成15年6月 取締役 平成18年6月 常務取締役 平成24年6月 常務執行役員 平成25年6月 専務取締役(現在)	(注)5	10
取締役 常務執行役員	生産本部副本部長、静岡工場長、生産管理部・安全環境部・物流部担当	内山 正巳	昭和34年5月12日生	昭和58年4月 当社入社 平成13年4月 人事部主査 平成17年6月 人事部長 平成19年6月 取締役 平成22年6月 小糸工業(株)(現K Iホールディングス(株))取締役(現在) 平成23年6月 常務取締役 平成24年6月 取締役常務執行役員(現在)	(注)5	4
取締役 常務執行役員	経営企画部・コンプライアンス推進室・情報システム部担当	草川 克之	昭和31年7月30日生	昭和55年4月 トヨタ自動車工業(株)(現トヨタ自動車(株))入社 平成13年1月 同社経理部主査 平成21年1月 米国トヨタ出向 平成23年3月 当社常勤顧問 平成23年6月 常務取締役 平成24年6月 取締役常務執行役員(現在)	(注)5	5
取締役 常務執行役員	経理本部長、内部監査室・原価管理部担当	山本 英男	昭和33年4月1日生	昭和55年4月 ㈱三菱銀行(現㈱三菱東京UFJ銀行)入行 平成11年4月 同行米州企画部総合リスク管理グループ次長 平成20年6月 同行アジアCIB部長 平成22年10月 当社常勤顧問 平成23年6月 常務取締役 平成24年6月 取締役常務執行役員(現在)	(注)5	3
取締役 常務執行役員	営業本部副本部長、国際本部副本部長、豊田支店長	加藤 充明	昭和34年6月23日生	昭和57年4月 当社入社 平成16年6月 欧米部長 平成17年6月 取締役 平成23年6月 常務取締役 平成24年6月 常務執行役員 平成25年6月 取締役常務執行役員(現在)	(注)5	8
取締役		上原 治也	昭和21年7月25日生	昭和44年4月 三菱信託銀行(株)(現三菱UFJ信託銀行(株))入社 平成8年6月 同社取締役 平成10年6月 同社常務取締役 平成13年6月 同社専務取締役 平成14年6月 同社取締役副社長 平成16年4月 同社取締役社長 平成17年10月 三菱UFJ信託銀行(株)取締役社長 平成20年6月 同社取締役会長 平成24年4月 同社最高顧問(現在) 平成25年6月 当社取締役(現在)	(注)5	0

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (千株)
常勤監査役		後藤 周一	昭和20年2月15日生	昭和44年4月 トヨタ自動車工業(株)(現トヨタ自動車(株))入社 平成6年1月 同社第2開発センターチーフエンジニア 平成9年5月 当社常勤顧問 平成9年6月 取締役 平成11年6月 常務取締役 平成15年6月 専務取締役 平成19年6月 代表取締役副社長 平成23年6月 常勤監査役(現在)	(注)6	26
常勤監査役		菊地 光雄	昭和20年4月2日生	昭和43年4月 当社入社 平成7年4月 生産管理部長 平成11年6月 取締役 平成15年6月 ノースアメリカンライティングインク取締役会長(CEO) 平成17年6月 常務取締役 平成18年1月 小糸九州(株)代表取締役社長 平成18年6月 専務取締役 平成21年6月 代表取締役副社長 平成25年6月 常勤監査役(現在)	(注)7	23
監査役		草野 耕一	昭和30年3月22日生	昭和52年10月 司法試験合格 昭和55年4月 弁護士登録 昭和61年11月 米国・ニューヨーク州弁護士資格取得 平成6年6月 当社監査役(現在)	(注)8	1
監査役		川島 信義	昭和11年9月8日生	昭和30年4月 熊本国税局入局 昭和50年4月 税理士資格取得 平成5年7月 東京国税局調査第2部次長 平成6年7月 京橋税務署長 平成7年9月 当社囑託(非常勤) 平成12年7月 当社顧問(非常勤) 平成13年6月 当社監査役(現在)	(注)6	10
計						323

- (注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 取締役社長大嶽昌宏は取締役会長大嶽隆司の実弟であります。  
3. 取締役上原治也は、社外取締役であります。  
4. 監査役草野耕一・川島信義は、社外監査役であります。  
5. 平成25年6月27日開催の定時株主総会の終結の時から2年間。  
6. 平成24年6月28日開催の定時株主総会の終結の時から4年間。  
7. 平成25年6月27日開催の定時株主総会の終結の時から3年間。  
8. 平成23年6月29日開催の定時株主総会の終結の時から4年間。

## 6【コーポレート・ガバナンスの状況等】

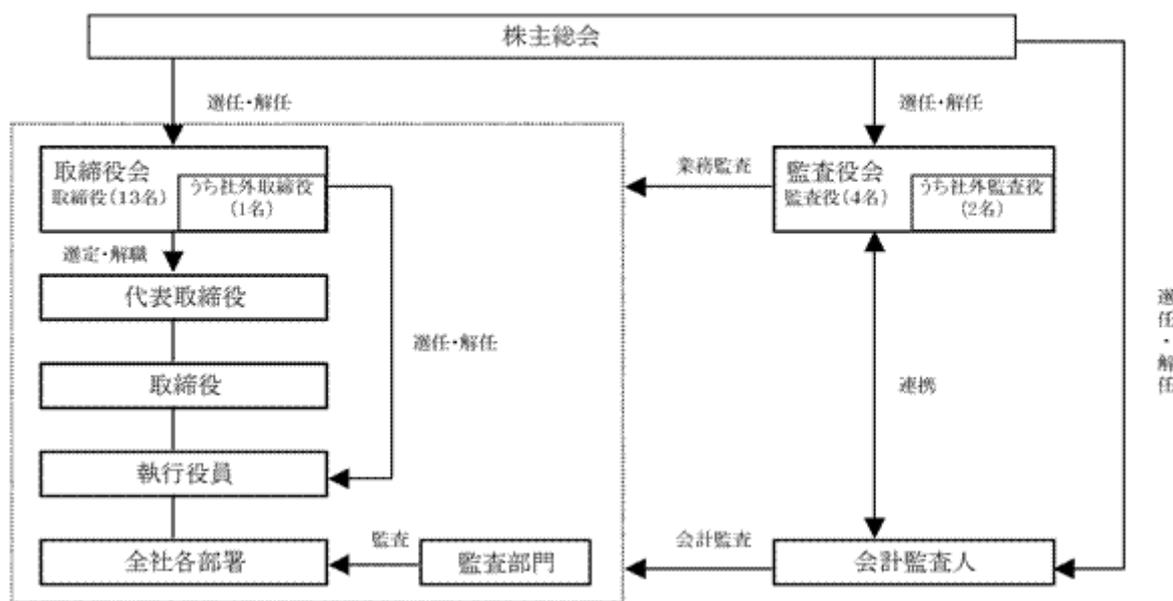
### (1)【コーポレート・ガバナンスの状況】

当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、全てのステークホルダー（利害関係者）から信頼される企業であり続けるために、企業倫理の重要性を認識し、経営の健全性を図る等、コーポレート・ガバナンスの充実、及びコンプライアンスの強化を経営の最重要課題と位置付けております。

その取り組みの一環として、取締役会が担っている「経営の意志決定及び監督機能」と「業務執行機能」を区分し、取締役の少人数化により、取締役会の活性化、経営に関する最高意志決定機関としての機能強化、経営判断の迅速化等のため執行役員制度を導入するとともに、監査役会と会計監査人の連携による監査強化等を図っております。

企業統治の体制及び内部統制システムの整備等の状況

#### イ．企業統治の体制の概要



当社は、取締役会による経営の意思決定・監督、執行役員による業務執行、監査役による業務執行の監査を行っております。取締役会は取締役13名（うち社外取締役1名）で構成され、原則月1回開催。取締役、監査役出席のもと、業務執行状況の報告、重要事項についての意思決定をいたします。また、取締役会を補う機関として、常勤取締役に構成される常務会（議長は社長）を、原則月3回開催、業務執行状況の報告、及びフォローを実施いたします。なお、取締役の定数は15名以内とする旨定款に定めております。

監査役会は、監査役4名（うち社外監査役2名）で構成され、各監査役は監査方針に従い取締役会への出席や、業務・財産の状況調査等を通じ、取締役の職務遂行の監査を行っております。また、常勤監査役は常務会に出席するほか、重要な会議・委員会に出席、取締役の業務執行状況を監査いたします。

会計監査は、会計監査人として明治監査法人が監査を実施しております。

#### ロ．内部統制システムの整備の状況

当社は、下記基本方針に基づき、内部統制の整備を進めております。

取締役及び使用人の職務の執行が法令・定款に適合することを確保するための体制

コンプライアンスの基本理念に基づき、関係諸規程、及び組織・体制の整備・充実を図ると共に、取締役、及び従業員への周知・教育を行っております。

取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

株主総会、取締役会、常務会の議事録など取締役の職務執行に係る情報については、関係諸規程の整備・充実を図り、これに従って、適切な保存・管理を行っております。

損失の危険の管理に関する規程その他の体制

会社の存続に関わる重大なリスク事案の回避・排除、また、発生した場合の影響を極小化するため、リスク管理に関する規程や体制の整備、及び取締役・従業員への教育・訓練を行っております。

取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会、常務会の定例的開催、及び取締役の職務執行に係る諸規程、組織・体制の整備・充実を図り、取締役の職務執行の効率性を確保しております。

当該株式会社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制  
グループ会社の業務の適正を確保・管理するため、承認・報告事項制度を明確にし、充実させると共に、定期的に業務報告、業務監査、会計監査を実施しております。

監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項及び当該

使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役を補助するため、監査役室を置き、所属する使用人を選任しております。

取締役からの独立性を確保するため、監査役室の人事については、監査役会の同意を得た上で、決定しております。

取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制並びにその他

監査役が実効的に行われることを確保するための体制

取締役、及び従業員は、諸規程に従い、監査役に報告すべき事項を報告する。また、監査役は当該規程に従い、監査役会に報告するものとしております。

監査の実効性を確保するため、監査体制の整備に努めております。

## 八．リスク管理体制の整備の状況

当社のリスク管理体制は、その低減及び回避の為の諸施策を実施するほか、日常の管理は社内各部門が分担してあっております。また、万一リスクが現実のものとなった場合には、経営トップの指揮のもと迅速・適切な対応を図ることを基本としております。

## 二．内部監査及び監査役監査の状況

当社の内部監査、監査役監査及び会計監査について、主に内部監査室が内部監査機能を有し、監査役及び会計監査人は内部監査部門より監査計画並びに監査の方法及び結果について定期的に報告を受ける他、必要に応じ情報交換を行っております。また、社外監査役川島信義氏は、税理士資格を有していることから財務及び会計に関する豊富な知見を有しており、内部監査部門に対し意見を述べるなど、連携、意思疎通を図っております。

## ホ．会計監査の状況

財務諸表の適正性を確保するため、会計監査人から監査役会及び取締役会が逐次関係法令に基づく会計監査実施経過の報告を受けております。

なお、会計監査は明治監査法人が実施しており、会計監査業務を遂行した公認会計士は、芳井誠氏、笹山淳氏、二階堂博文氏の3名であり、会計監査業務に係る補助者は公認会計士4名、その他3名であります。いずれも明治監査法人に所属しております。

## へ．社外取締役及び社外監査役

当社の社外取締役は1名、社外監査役は2名であります。

社外取締役上原治也氏は、三菱UFJ信託銀行株式会社の最高顧問であり、三菱重工業株式会社、株式会社ニコン、及び株式会社三菱総合研究所の社外監査役であります。経営の客観性や中立性の観点から、社外取締役を招聘し、経営体制の強化を図るために当該社外取締役を選任しております。なお、当社は三菱UFJ信託銀行株式会社に株式事務を委託しております。

社外監査役草野耕一氏は、西村あさひ法律事務所代表パートナー及び楽天株式会社の社外取締役であります。当社は、西村あさひ法律事務所との間に法律業務を委託する取引関係がありますが、顧問弁護士契約を締結していないことなどから、独立性が高いものと認識しております。主に法律的な見地から、業務執行を監査するために当該社外監査役を選任しております。なお、当社は楽天株式会社との間に特別の関係はありません。

社外監査役川島信義氏は、主要株主、主要な取引先の出身者等いずれにも該当しないことから、独立性が高いものと認識しております。主に税務・会計的な見地から業務執行を監査するため当該社外監査役を選任しております。

当社において、社外取締役又は社外監査役を選任するための独立性について特段の定めはありませんが、社外取締役又は社外監査役として期待される職務を適切に遂行され、一般株主と利益相反が生じるおそれがないことを基本的な考え方として、選任しております。

役員報酬等

イ．役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額 (百万円)		対象となる 役 員の員数 (人)
		基本報酬等	退職慰労金	
取締役 (社外取締 役を除く。)	828	772	55	21
監査役 (社外監査 役を除く。)	58	57	1	2
社外役員	34	33	0	2

ロ．報酬等の総額が1億円以上である者の報酬等の総額等

氏名	役員区分	会社区分	報酬等の種類別の総額 (百万円)		報酬等の総額 (百万円)
			基本報酬等	退職慰労金	
大嶽 隆司	取締役	提出会社	141	4	145
大嶽 昌宏	"	"	131	4	136

ハ．役員の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針の内容及び決定方法

取締役の報酬を年額12億円以内、監査役の報酬を年額1億2,000万円以内としております。

株式の保有状況

イ．投資株式のうち、保有目的が純投資目的以外の目的であるものの銘柄数及び貸借対照表計上額の合計額

52銘柄 17,433百万円

ロ．保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式の保有区分、銘柄、株式数、貸借対照表計上額及び保有目的

前事業年度  
特定投資株式

銘柄	株式数 (株)	貸借対照表計上額 (百万円)	保有目的
NOK(株)	975,000	1,755	取引関係の維持・強化
日産自動車(株)	1,298,988	1,144	取引関係の維持・強化
ヤマハ発動機(株)	910,000	1,009	取引関係の維持・強化
パナソニック(株)	1,000,000	761	取引関係の維持・強化
KYB(株)	1,428,000	718	取引関係の維持・強化
マツダ(株)	4,220,000	611	取引関係の維持・強化
KOA(株)	680,350	602	取引関係の維持・強化
スズキ(株)	294,000	581	取引関係の維持・強化
(株)三菱UFJフィナンシャルグループ	1,363,600	561	資金・金融関連業務の円滑な推進
富士重工業(株)	772,816	513	取引関係の維持・強化
シーケーディー(株)	773,581	506	取引関係の維持・強化
豊田通商(株)	254,234	428	取引関係の維持・強化
(株)大和証券グループ本社	1,181,238	386	資金・金融関連業務の円滑な推進
(株)オートバックスセブン	94,200	377	取引関係の維持・強化
日野自動車(株)	580,000	346	取引関係の維持・強化
ダイハツ工業(株)	200,000	303	取引関係の維持・強化
日産車体(株)	345,545	299	取引関係の維持・強化
ウシオ電機(株)	214,399	249	取引関係の維持・強化
(株)みずほフィナンシャルグループ	1,797,490	242	資金・金融関連業務の円滑な推進
(株)三井住友フィナンシャルグループ	81,306	221	資金・金融関連業務の円滑な推進
三井住友トラスト・ホールディングス(株)	665,967	175	資金・金融関連業務の円滑な推進
野村ホールディングス(株)	457,008	167	資金・金融関連業務の円滑な推進
第一生命保険(株)	1,208	138	資金・金融関連業務の円滑な推進
(株)静岡銀行	134,354	114	資金・金融関連業務の円滑な推進
岡谷鋼機(株)	115,000	102	取引関係の維持・強化
川崎重工業(株)	350,000	88	取引関係の維持・強化
三菱重工業(株)	200,000	80	取引関係の維持・強化
いすゞ自動車(株)	110,000	53	取引関係の維持・強化
(株)日立製作所	52,500	27	取引関係の維持・強化
(株)岡三証券グループ	77,679	27	資金・金融関連業務の円滑な推進

当事業年度  
特定投資株式

銘柄	株式数 (株)	貸借対照表計上額 (百万円)	保有目的
NOK(株)	975,000	1,316	取引関係の維持・強化
マツダ(株)	4,220,000	1,185	取引関係の維持・強化
日産自動車(株)	1,298,988	1,175	取引関係の維持・強化
ヤマハ発動機(株)	910,000	1,173	取引関係の維持・強化
富士重工業(株)	772,816	1,129	取引関係の維持・強化
(株)大和証券グループ本社	1,181,238	774	資金・金融関連業務の円滑な推進
(株)三菱UFJフィナンシャルグループ	1,363,600	760	資金・金融関連業務の円滑な推進
KYB(株)	1,428,000	656	取引関係の維持・強化
パナソニック(株)	1,000,000	654	取引関係の維持・強化
スズキ(株)	294,000	620	取引関係の維持・強化
豊田通商(株)	254,234	620	取引関係の維持・強化
KOA(株)	680,350	614	取引関係の維持・強化
日野自動車(株)	580,000	585	取引関係の維持・強化
シーケーディー(株)	773,581	469	取引関係の維持・強化
(株)オートバックスセブン	282,600	425	取引関係の維持・強化
日産車体(株)	345,545	402	取引関係の維持・強化
ダイハツ工業(株)	200,000	390	取引関係の維持・強化
(株)みずほフィナンシャルグループ	1,797,490	357	資金・金融関連業務の円滑な推進
(株)三井住友フィナンシャルグループ	81,306	306	資金・金融関連業務の円滑な推進
三井住友トラスト・ホールディングス(株)	665,967	295	資金・金融関連業務の円滑な推進
野村ホールディングス(株)	457,008	263	資金・金融関連業務の円滑な推進
ウシオ電機(株)	214,399	208	取引関係の維持・強化
第一生命保険(株)	1,208	152	資金・金融関連業務の円滑な推進
(株)静岡銀行	134,354	142	資金・金融関連業務の円滑な推進
岡谷鋼機(株)	115,000	130	取引関係の維持・強化
三菱重工業(株)	200,000	107	取引関係の維持・強化
川崎重工業(株)	350,000	103	取引関係の維持・強化
(株)岡三証券グループ	77,679	68	資金・金融関連業務の円滑な推進
いすゞ自動車(株)	110,000	61	取引関係の維持・強化
(株)日立製作所	52,500	28	取引関係の維持・強化

**責任限定契約の内容の概要**

当社と社外取締役、社外監査役及び会計監査人は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令が定める最低限度額としております。

**取締役の選解任の決議要件**

当社は、取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行います。ただし、取締役の選任については累積投票によらないと定款に定めております。取締役の解任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行うと定款に定めております。

**自己の株式の取得**

当社は、会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって市場取引等により自己の株式を取得することができる旨定款に定めております。これは、機動的な資本政策の遂行を可能とすることを目的とするものであります。

**中間配当**

当社は、株主への機動的な利益還元を行うため、会社法第454条第5項の規定により、取締役会の決議によって毎年9月30日を基準日として、中間配当を行うことができる旨定款に定めております。

**株主総会の特別決議要件**

当社は、会社法第309条第2項に定める株主総会の特別決議要件について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う旨定款に定めております。これは、株主総会の円滑な運営を行うことを目的とするものであります。

**取締役及び監査役の責任免除**

当社は、取締役及び監査役が期待される役割を十分に発揮できるようにするため、会社法第426条第1項の規定により、取締役会の決議によって、取締役（取締役であった者を含む。）及び監査役（監査役であった者を含む。）の会社法第423条第1項の賠償責任について、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる旨を定款に定めております。

**（2）【監査報酬の内容等】**

**【監査公認会計士等に対する報酬の内容】**

区分	前連結会計年度		当連結会計年度	
	監査証明業務に基づく報酬（百万円）	非監査業務に基づく報酬（百万円）	監査証明業務に基づく報酬（百万円）	非監査業務に基づく報酬（百万円）
提出会社	40	-	40	-
連結子会社	24	-	24	-
計	64	-	64	-

**【その他重要な報酬の内容】**

前連結会計年度、当連結会計年度ともに該当事項はありません。

**【監査公認会計士等の提出会社に対する非監査業務の内容】**

前連結会計年度、当連結会計年度ともに該当事項はありません。

**【監査報酬の決定方針】**

前連結会計年度、当連結会計年度ともに該当事項はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結会計年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の連結財務諸表及び事業年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の財務諸表について、明治監査法人による監査を受けております。

### 3．連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

当社は、連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みとして、会計基準等の内容を適切に把握し、会計基準等の変更等についての的確に対応することができる体制を整備するため、会計基準設定主体である公益財団法人財務会計基準機構へ加入しており、研修会・セミナー等へ参加しております。

1【連結財務諸表等】  
(1)【連結財務諸表】  
【連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,620	76,485
受取手形及び売掛金	3 89,523	90,299
電子記録債権	4,393	6,820
有価証券	891	778
たな卸資産	1 37,817	1 39,540
繰延税金資産	3,029	3,370
未収入金	14,468	15,450
その他	6,056	18,440
貸倒引当金	12,804	12,846
流動資産合計	202,995	238,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2, 3 29,917	2, 3 32,059
機械装置及び運搬具（純額）	2, 3 26,091	2, 3 30,570
工具、器具及び備品（純額）	2 10,783	2 9,786
土地	3 13,497	3 13,938
建設仮勘定	4,778	12,837
有形固定資産合計	85,068	99,193
無形固定資産		
投資その他の資産	1,186	981
投資その他の資産		
投資有価証券	4 61,722	4 71,658
長期貸付金	99	56
繰延税金資産	10,400	5,882
その他	1,973	2,141
貸倒引当金	174	165
投資その他の資産合計	74,022	79,574
固定資産合計	160,278	179,749
資産合計	363,273	418,087

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,443	86,495
短期借入金	3 22,854	3 27,297
未払費用	17,207	18,663
未払法人税等	5,175	7,582
賞与引当金	4,453	4,408
役員賞与引当金	317	-
製品保証引当金	1,700	1,800
課徴金引当金	-	3,428
その他	7,289	6,957
流動負債合計	137,441	156,633
固定負債		
長期借入金	3 2,883	3 2,800
退職給付引当金	29,313	30,120
役員退職慰労引当金	1,339	293
損害賠償引当金	8,564	7,960
環境対策引当金	248	253
その他	564	1,894
固定負債合計	42,915	43,322
負債合計	180,356	199,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,108	17,108
利益剰余金	127,638	140,588
自己株式	76	78
株主資本合計	158,940	171,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,014	13,297
為替換算調整勘定	2,676	4,534
その他の包括利益累計額合計	1,338	17,831
少数株主持分	22,638	28,410
純資産合計	182,916	218,131
負債純資産合計	363,273	418,087

## 【連結損益及び包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
売上高	430,929	472,843
売上原価	2 365,193	2 399,474
売上総利益	65,736	73,368
販売費及び一般管理費		
販売費	1 12,680	1 13,099
一般管理費	1, 2 21,329	1, 2 22,600
販売費及び一般管理費合計	34,010	35,699
営業利益	31,725	37,668
営業外収益		
受取利息	584	592
受取配当金	494	551
持分法による投資利益	5	4
為替差益	380	802
その他の営業外収益	1,694	2,263
営業外収益合計	3,158	4,214
営業外費用		
支払利息	666	574
航空事業安全対策費	1,270	405
為替差損	651	-
その他の営業外費用	799	895
営業外費用合計	3,387	1,876
経常利益	31,496	40,007
特別利益		
投資有価証券売却益	7	757
固定資産売却益	3 11	3 10
その他の特別利益	0	2
特別利益合計	19	770
特別損失		
課徴金引当金繰入額	-	5 3,428
投資有価証券評価損	2,968	3,031
特別退職金	-	6 781
投資有価証券売却損	-	254
固定資産除売却損	4 62	4 244
たな卸資産評価損	690	18
たな卸資産廃棄損	384	13
その他の特別損失	316	-
特別損失合計	4,422	7,772
税金等調整前当期純利益	27,093	33,004
法人税、住民税及び事業税	10,376	13,845
法人税等調整額	222	2,033
法人税等合計	10,599	11,812
少数株主損益調整前当期純利益	16,493	21,192
少数株主利益	3,102	4,566
当期純利益	13,391	16,625

	前連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
少数株主利益	3,102	4,566
少数株主損益調整前当期純利益	16,493	21,192
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,550	9,911
為替換算調整勘定	944	10,062
その他の包括利益合計	7 3,495	7 19,973
包括利益	19,989	41,166
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	16,525	33,119
少数株主に係る包括利益	3,463	8,047

## 【連結株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	14,270	14,270
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	14,270	14,270
<b>資本剰余金</b>		
当期首残高	17,107	17,108
当期変動額		
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	0	-
当期末残高	17,108	17,108
<b>利益剰余金</b>		
当期首残高	117,139	127,638
当期変動額		
剰余金の配当	2,892	3,213
当期純利益	13,391	16,625
在外子会社の国際会計基準適用に伴う増減	-	461
当期変動額合計	10,498	12,950
当期末残高	127,638	140,588
<b>自己株式</b>		
当期首残高	74	76
当期変動額		
自己株式の取得	2	1
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	2	1
当期末残高	76	78
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	148,443	158,940
当期変動額		
剰余金の配当	2,892	3,213
当期純利益	13,391	16,625
自己株式の取得	2	1
自己株式の処分	0	-
在外子会社の国際会計基準適用に伴う増減	-	461
当期変動額合計	10,496	12,949
当期末残高	158,940	171,889

	前連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>		
当期首残高	1,614	4,014
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,400	9,282
当期変動額合計	2,400	9,282
当期末残高	4,014	13,297
<b>為替換算調整勘定</b>		
当期首残高	3,410	2,676
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	734	7,210
当期変動額合計	734	7,210
当期末残高	2,676	4,534
<b>その他の包括利益累計額合計</b>		
当期首残高	1,796	1,338
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,134	16,493
当期変動額合計	3,134	16,493
当期末残高	1,338	17,831
<b>少数株主持分</b>		
当期首残高	21,767	22,638
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	870	5,772
当期変動額合計	870	5,772
当期末残高	22,638	28,410
<b>純資産合計</b>		
当期首残高	168,414	182,916
当期変動額		
剰余金の配当	2,892	3,213
当期純利益	13,391	16,625
自己株式の取得	2	1
自己株式の処分	0	-
在外子会社の国際会計基準適用に伴う増減	-	461
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	4,004	22,266
当期変動額合計	14,501	35,215
当期末残高	182,916	218,131

## 【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	27,093	33,004
減価償却費	19,517	17,827
持分法による投資損益（は益）	5	4
貸倒引当金の増減額（は減少）	252	99
退職給付引当金の増減額（は減少）	545	996
賞与引当金の増減額（は減少）	213	46
受取利息及び受取配当金	1,078	1,143
支払利息	666	574
有価証券及び投資有価証券売却損益（は益）	8	502
有価証券及び投資有価証券評価損	2,949	3,031
有形固定資産売却損益（は益）	51	233
売上債権の増減額（は増加）	20,744	2,970
たな卸資産の増減額（は増加）	3,509	987
その他の流動資産の増減額（は増加）	14	9,347
仕入債務の増減額（は減少）	8,791	2,800
未払費用の増減額（は減少）	2,171	394
役員賞与の支給額	329	317
課徴金引当金繰入額	-	3,428
その他	767	1,018
小計	43,842	53,768
利息及び配当金の受取額	1,078	1,143
利息の支払額	666	574
損害賠償金の支払額	921	604
法人税等の支払額	11,259	11,595
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,074	42,138
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金他の預入による支出	31,483	52,785
定期預金他の払戻による収入	27,631	34,959
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	2,408	16
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,758	2,256
有形固定資産の取得による支出	22,933	27,103
有形固定資産の売却・除却による収支（は支出）	219	149
貸付けによる支出	23	16
貸付金の回収による収入	76	56
その他の投資他の増減（は増加）	22	553
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,185	41,947

	前連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（ は減少）	997	1,723
長期借入れによる収入	629	1,874
長期借入金の返済による支出	1,602	914
自己株式の取得による支出	2	1
自己株式の売却による収入	0	-
親会社による配当金の支払額	2,893	3,214
少数株主への配当金の支払額	1,733	2,280
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,604</b>	<b>2,812</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	1,396
<b>現金及び現金同等物の増減額（ は減少）</b>	<b>315</b>	<b>1,225</b>
現金及び現金同等物の期首残高	22,902	23,217
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>23,217</b>	<b>21,992</b>



項目	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
(3)重要な引当金の計上 基準	<p>ロ．無形固定資産（リース資産を除く） 当社及び国内連結子会社は、定額法を採用し、在外連結子会社は所在地国の会計基準に基づく定額法を採用しております。</p> <p>ハ．リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>イ．貸倒引当金 売掛金等債権の貸倒損失に備えるため、当社及び国内連結子会社は、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。 また在外連結子会社は主として特定の債権について回収不能見込額を計上しております。</p> <p>ロ．賞与引当金 当社及び国内連結子会社は、従業員の賞与支給に充てるため事業年度分支給見込額を期間に基づいて計上しております。</p> <p>ハ．製品保証引当金 当社は、品質保証費用発生に備えるため、所定の基準により発生見込額を計上しております。</p> <p>ニ．課徴金引当金 当社は、独占禁止法の規定に基づく課徴金納付命令書を受領したことに伴い、当該命令書の金額を計上しております。</p> <p>ホ．退職給付引当金 当社及び連結子会社は、従業員の退職給付に備えるため当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。 数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5～10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の日連結会計年度から費用処理することとしております。</p> <p>ヘ．役員退職慰労引当金 一部の国内連結子会社は、役員の退任により支給する役員退職慰労金に充てるため、支給規程に基づく期末要支給額を計上しております。</p> <p>ト．損害賠償引当金 一部の国内連結子会社は、損害賠償金等の発生に備えるため、発生見込額を計上しております。</p> <p>チ．環境対策引当金 当社及び国内連結子会社は、環境対策に係る費用発生に備えるため、発生見込額を計上しております。</p>
(4)重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	<p>外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。 なお、在外連結子会社の資産及び負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び少数株主持分に含めて計上しております。</p>
(5)重要なヘッジ会計の方法	<p>イ．ヘッジ会計の方法 ヘッジ対象に係る損益又は評価差額は、ヘッジ時点で認識し、それを期間に基づいて配分しております。</p> <p>ロ．ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ対象は外貨建取引の為替変動リスクと固定金利又は変動金利の借入金の変動金利リスクとし、為替変動リスクについては為替予約取引を、金利変動リスクについては、金利スワップをそれぞれヘッジ手段としております。</p>

項目	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<p>(6)のれんの償却方法及び償却期間</p> <p>(7)連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲</p> <p>(8)その他連結財務諸表作成のための重要な事項</p>	<p>ハ．ヘッジ方針 原則として、投機的な目的の為にヘッジを利用することはしません、利用するヘッジ取引は確定した取引をヘッジする目的の為に替予約取引、金利スワップ取引としております。</p> <p>ニ．ヘッジ有効性評価の方法 個別ヘッジにおいて、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動又はキャッシュ・フロー変動を直接結び付けてヘッジ有効性を判断するものとし、その方法は、ヘッジ取引開始時並びにヘッジ取引時以降において管理方針に関する社内規程に基づいて実施することとしております。</p> <p>のれんの償却については、5年間の定額法により償却を行っております。ただし、金額が僅少の場合は、発生した期の損益として処理しております。</p> <p>手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。</p> <p>イ．消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。</p>

(未適用の会計基準等)

当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<p>「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日)</p> <p>(1)概要 数理計算上の差異及び過去勤務費用は、連結貸借対照表の純資産の部において税効果を調整した上で認識し、積立状況を示す額を負債又は資産として計上する方法に改正されました。また、退職給付見込額の帰属方法について、期間定額基準のほか給付算定式基準の適用が可能となったほか、割引率の算定方法が改正されました。</p> <p>(2)適用予定日 平成26年3月期の年度末に係わる連結財務諸表から適用する予定であります。ただし、退職給付見込額の期間帰属方法の改正については、平成27年3月期の期首から適用する予定であります。なお、当該会計基準等には経過的な取り扱いが定められているため、過去の期間の連結財務諸表に対しては遡及適用いたしません。</p> <p>(3)当該会計基準等の適用による影響 当連結財務諸表作成時において連結財務諸表に与える影響額は、現在評価中であります。</p>

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<p>前連結会計年度において、「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に含めていた「電子記録債権」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。</p> <p>この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に表示しておりました93,916百万円は、「電子記録債権」4,393百万円、「受取手形及び売掛金」89,523百万円として組替えております。</p>

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)																																		
<p>1. たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">製品</td> <td style="text-align: right;">18,987百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">仕掛品</td> <td style="text-align: right;">4,200</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">14,629</td> </tr> </table> <p>2. 有形固定資産の減価償却累計額(減損損失累計額を含む)は、230,280百万円であります。</p> <p>3. 担保に供している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">売掛金</td> <td style="text-align: right;">521百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">561</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">機械装置</td> <td style="text-align: right;">1,263</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">190</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,537</td> </tr> </table> <p>上記物件については、短期借入金1,308百万円、長期借入金932百万円の担保に供しております。</p> <p>4. 非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">投資有価証券(株式)</td> <td style="text-align: right;">81百万円</td> </tr> </table>	製品	18,987百万円	仕掛品	4,200	原材料及び貯蔵品	14,629	売掛金	521百万円	建物及び構築物	561	機械装置	1,263	土地	190	計	2,537	投資有価証券(株式)	81百万円	<p>1. たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">製品</td> <td style="text-align: right;">20,152百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">仕掛品</td> <td style="text-align: right;">4,471</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">14,916</td> </tr> </table> <p>2. 有形固定資産の減価償却累計額(減損損失累計額を含む)は、235,341百万円であります。</p> <p>3. 担保に供している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">525百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">機械装置</td> <td style="text-align: right;">350</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">116</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">992</td> </tr> </table> <p>上記物件については、短期借入金200百万円、長期借入金687百万円の担保に供しております。</p> <p>4. 非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">投資有価証券(株式)</td> <td style="text-align: right;">84百万円</td> </tr> </table>	製品	20,152百万円	仕掛品	4,471	原材料及び貯蔵品	14,916	建物及び構築物	525百万円	機械装置	350	土地	116	計	992	投資有価証券(株式)	84百万円
製品	18,987百万円																																		
仕掛品	4,200																																		
原材料及び貯蔵品	14,629																																		
売掛金	521百万円																																		
建物及び構築物	561																																		
機械装置	1,263																																		
土地	190																																		
計	2,537																																		
投資有価証券(株式)	81百万円																																		
製品	20,152百万円																																		
仕掛品	4,471																																		
原材料及び貯蔵品	14,916																																		
建物及び構築物	525百万円																																		
機械装置	350																																		
土地	116																																		
計	992																																		
投資有価証券(株式)	84百万円																																		

( 連結損益及び包括利益計算書関係 )

前連結会計年度 ( 自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日 )	当連結会計年度 ( 自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日 )																																																																																						
<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>(1)販売費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">運賃運送費</td> <td style="text-align: right;">3,039百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">4,309</td> </tr> <tr> <td>荷造梱包費</td> <td style="text-align: right;">1,812</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">406</td> </tr> </table> <p>(2)一般管理費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">6,327百万円</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">2,059</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">317</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">477</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">211</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">437</td> </tr> </table> <p>2. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 17,611百万円</p> <p>3. 固定資産売却益</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">機械装置及び運搬具等</td> <td style="text-align: right;">11百万円</td> </tr> </table> <p>4. 固定資産除売却損</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">41百万円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">18</td> </tr> <tr> <td>工具器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">3</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">62</td> </tr> </table> <p>7. その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額 その他有価証券評価差額金：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当期発生額</td> <td style="text-align: right;">595百万円</td> </tr> <tr> <td>組替調整額</td> <td style="text-align: right;">2,960</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">税効果調整前</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,555</td> </tr> <tr> <td>税効果額</td> <td style="text-align: right;">1,005</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,550</td> </tr> </table> <p>為替換算調整勘定：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当期発生額</td> <td style="text-align: right;">944</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">その他の包括利益合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,495</td> </tr> </table>	運賃運送費	3,039百万円	従業員給与手当	4,309	荷造梱包費	1,812	退職給付費用	406	従業員給与手当	6,327百万円	福利厚生費	2,059	役員賞与引当金繰入額	317	退職給付費用	477	役員退職慰労引当金繰入額	211	貸倒引当金繰入額	437	機械装置及び運搬具等	11百万円	建物及び構築物	41百万円	機械装置及び運搬具	18	工具器具及び備品	3	計	62	当期発生額	595百万円	組替調整額	2,960	税効果調整前	3,555	税効果額	1,005	その他有価証券評価差額金	2,550	当期発生額	944	その他の包括利益合計	3,495	<p>1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>(1)販売費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">運賃運送費</td> <td style="text-align: right;">3,202百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">4,286</td> </tr> <tr> <td>荷造梱包費</td> <td style="text-align: right;">1,836</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">398</td> </tr> </table> <p>(2)一般管理費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">6,724百万円</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">2,171</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">1</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">479</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">348</td> </tr> </table> <p>2. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 20,085百万円</p> <p>3. 固定資産売却益</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">機械装置及び運搬具等</td> <td style="text-align: right;">10百万円</td> </tr> </table> <p>4. 固定資産除売却損</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">138百万円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">102</td> </tr> <tr> <td>工具器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">244</td> </tr> </table> <p>5. 課徴金引当金繰入額 当社は、独占禁止法の規定に基づく課徴金納付命令書を受領したことに伴い、当該命令書の金額を計上しております。</p> <p>6. 特別退職金 連結子会社であるKIホールディングス㈱の希望退職実施に伴う退職金及び再就職支援費等であります。</p> <p>7. その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額 その他有価証券評価差額金：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当期発生額</td> <td style="text-align: right;">12,048百万円</td> </tr> <tr> <td>組替調整額</td> <td style="text-align: right;">2,529</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">税効果調整前</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">14,577</td> </tr> <tr> <td>税効果額</td> <td style="text-align: right;">4,666</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">9,911</td> </tr> </table> <p>為替換算調整勘定：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当期発生額</td> <td style="text-align: right;">10,062</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">その他の包括利益合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">19,973</td> </tr> </table>	運賃運送費	3,202百万円	従業員給与手当	4,286	荷造梱包費	1,836	退職給付費用	398	従業員給与手当	6,724百万円	福利厚生費	2,171	役員賞与引当金繰入額	1	退職給付費用	479	役員退職慰労引当金繰入額	348	機械装置及び運搬具等	10百万円	建物及び構築物	138百万円	機械装置及び運搬具	102	工具器具及び備品	2	計	244	当期発生額	12,048百万円	組替調整額	2,529	税効果調整前	14,577	税効果額	4,666	その他有価証券評価差額金	9,911	当期発生額	10,062	その他の包括利益合計	19,973
運賃運送費	3,039百万円																																																																																						
従業員給与手当	4,309																																																																																						
荷造梱包費	1,812																																																																																						
退職給付費用	406																																																																																						
従業員給与手当	6,327百万円																																																																																						
福利厚生費	2,059																																																																																						
役員賞与引当金繰入額	317																																																																																						
退職給付費用	477																																																																																						
役員退職慰労引当金繰入額	211																																																																																						
貸倒引当金繰入額	437																																																																																						
機械装置及び運搬具等	11百万円																																																																																						
建物及び構築物	41百万円																																																																																						
機械装置及び運搬具	18																																																																																						
工具器具及び備品	3																																																																																						
計	62																																																																																						
当期発生額	595百万円																																																																																						
組替調整額	2,960																																																																																						
税効果調整前	3,555																																																																																						
税効果額	1,005																																																																																						
その他有価証券評価差額金	2,550																																																																																						
当期発生額	944																																																																																						
その他の包括利益合計	3,495																																																																																						
運賃運送費	3,202百万円																																																																																						
従業員給与手当	4,286																																																																																						
荷造梱包費	1,836																																																																																						
退職給付費用	398																																																																																						
従業員給与手当	6,724百万円																																																																																						
福利厚生費	2,171																																																																																						
役員賞与引当金繰入額	1																																																																																						
退職給付費用	479																																																																																						
役員退職慰労引当金繰入額	348																																																																																						
機械装置及び運搬具等	10百万円																																																																																						
建物及び構築物	138百万円																																																																																						
機械装置及び運搬具	102																																																																																						
工具器具及び備品	2																																																																																						
計	244																																																																																						
当期発生額	12,048百万円																																																																																						
組替調整額	2,529																																																																																						
税効果調整前	14,577																																																																																						
税効果額	4,666																																																																																						
その他有価証券評価差額金	9,911																																																																																						
当期発生額	10,062																																																																																						
その他の包括利益合計	19,973																																																																																						

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度 期首株式数(千株)	当連結会計年度 増 加株式数(千株)	当連結会計年度 減 少株式数(千株)	当連結会計年度末 株式数(千株)
発行済株式				
普通株式	160,789	-	-	160,789
合計	160,789	-	-	160,789
自己株式				
普通株式(注)	89	2	0	90
合計	89	2	0	90

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加は、単元未満株式の買取りによる増加であり、減少は売渡しによる減少であります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	1,446	9	平成23年3月31日	平成23年6月30日
平成23年10月27日 取締役会	普通株式	1,446	9	平成23年9月30日	平成23年12月5日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,606	利益剰余金	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日

当連結会計年度（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度 期首株式数（千株）	当連結会計年度 増 加株式数（千株）	当連結会計年度 減 少株式数（千株）	当連結会計年度末 株式数（千株）
発行済株式				
普通株式	160,789	-	-	160,789
合計	160,789	-	-	160,789
自己株式				
普通株式（注）	90	0	-	91
合計	90	0	-	91

（注）普通株式の自己株式の株式数の増加は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり配 当額（円）	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,606	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	1,606	10	平成24年9月30日	平成24年12月5日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	配当の原資	1株当たり配 当額（円）	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	1,928	利益剰余金	12	平成25年3月31日	平成25年6月28日

（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前連結会計年度 （自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）		当連結会計年度 （自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）	
現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係		現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金勘定	59,620百万円	現金及び預金勘定	76,485百万円
預入期間が3カ月を超える定期預金等	37,294	預入期間が3カ月を超える定期預金等	55,271
有価証券のうち現金同等物	891	有価証券のうち現金同等物	778
現金及び現金同等物	23,217	現金及び現金同等物	21,992

(リース取引関係)

前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)																																								
<p>1. ファイナンス・リース取引 所有権移転外ファイナンス・リース取引 リース資産の内容 自動車照明関連事業にかかる生産設備等 リース資産の減価償却の方法 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計処理基準に関する事項(2)重要な減価償却資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。 なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が、平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっており、その内容は次のとおりであります。 (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">取得価額 相当額 (百万円)</th> <th style="text-align: center;">減価償却累 計額相当額 (百万円)</th> <th style="text-align: center;">期末残高 相当額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: center;">3,077</td> <td style="text-align: center;">675</td> <td style="text-align: center;">2,402</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び 運搬具</td> <td style="text-align: center;">476</td> <td style="text-align: center;">360</td> <td style="text-align: center;">115</td> </tr> <tr> <td>工具器具及び 備品</td> <td style="text-align: center;">110</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">3,664</td> <td style="text-align: center;">1,121</td> <td style="text-align: center;">2,542</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。 (2)未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額 1年内 149百万円 1年超 2,393 合計 2,542 (注)未経過リース料期末残高相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。 (3)支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額及び減損損失 支払リース料 208百万円 減価償却費相当額 208 (4)減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p>		取得価額 相当額 (百万円)	減価償却累 計額相当額 (百万円)	期末残高 相当額 (百万円)	建物	3,077	675	2,402	機械装置及び 運搬具	476	360	115	工具器具及び 備品	110	85	25	合計	3,664	1,121	2,542	<p>1. ファイナンス・リース取引 所有権移転外ファイナンス・リース取引 リース資産の内容 自動車照明関連事業にかかる生産設備等 リース資産の減価償却の方法 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計処理基準に関する事項(2)重要な減価償却資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。 なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が、平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっており、その内容は次のとおりであります。 (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">取得価額 相当額 (百万円)</th> <th style="text-align: center;">減価償却累 計額相当額 (百万円)</th> <th style="text-align: center;">期末残高 相当額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: center;">3,077</td> <td style="text-align: center;">744</td> <td style="text-align: center;">2,333</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び 運搬具</td> <td style="text-align: center;">194</td> <td style="text-align: center;">166</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td>工具器具及び 備品</td> <td style="text-align: center;">53</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">3,325</td> <td style="text-align: center;">956</td> <td style="text-align: center;">2,369</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。 (2)未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額 1年内 104百万円 1年超 2,264 合計 2,369 (注)未経過リース料期末残高相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法により算定しております。 (3)支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額及び減損損失 支払リース料 134百万円 減価償却費相当額 134 (4)減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p>		取得価額 相当額 (百万円)	減価償却累 計額相当額 (百万円)	期末残高 相当額 (百万円)	建物	3,077	744	2,333	機械装置及び 運搬具	194	166	27	工具器具及び 備品	53	44	8	合計	3,325	956	2,369
	取得価額 相当額 (百万円)	減価償却累 計額相当額 (百万円)	期末残高 相当額 (百万円)																																						
建物	3,077	675	2,402																																						
機械装置及び 運搬具	476	360	115																																						
工具器具及び 備品	110	85	25																																						
合計	3,664	1,121	2,542																																						
	取得価額 相当額 (百万円)	減価償却累 計額相当額 (百万円)	期末残高 相当額 (百万円)																																						
建物	3,077	744	2,333																																						
機械装置及び 運搬具	194	166	27																																						
工具器具及び 備品	53	44	8																																						
合計	3,325	956	2,369																																						

前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)												
<p>2. オペレーティング・リース取引</p> <p>オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料</p> <table> <tr> <td>1年内</td> <td>51百万円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>387</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>439</td> </tr> </table> <p>(減損損失について) リース資産に配分された減損損失はありません。</p>	1年内	51百万円	1年超	387	合計	439	<p>2. オペレーティング・リース取引</p> <p>オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料</p> <table> <tr> <td>1年内</td> <td>117百万円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>495</td> </tr> </table> <p>(減損損失について) リース資産に配分された減損損失はありません。</p>	1年内	117百万円	1年超	377	合計	495
1年内	51百万円												
1年超	387												
合計	439												
1年内	117百万円												
1年超	377												
合計	495												

(金融商品関係)

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については元本の保全を第一義に考え安全性を重視した運用を行い、また、資金調達については自己資金及び銀行借入による方針であります。

(2)金融商品の内容及びそのリスク管理と管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金、また、電子記録債権は、顧客の信用リスクに晒されていますが、取引先別の期日管理及び残高管理を行うことなどによりリスク低減を図っております。投資有価証券は市場価格の変動リスクに晒されていますが、主に業務上の関係を有する株式及び余資運用の債券であり、定期的に時価の把握を行っております。

営業債務である支払手形、買掛金、未払費用及び未払法人税等は1年以内の支払期日であります。短期借入金は主に営業取引に係る運転資金の確保を目的とした資金調達であり、長期借入金は主に設備投資を目的とした資金調達であります。また、営業債務や借入金は流動性のリスクに晒されていますが、資金繰計画を作成することなどにより当該リスクを管理しております。

デリバティブは為替変動リスク及び金利変動リスクを軽減するために利用することにしており、投機的な取引は行わない方針であります。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジの有効性の評価方法等については、前述の連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計処理基準に関する事項 (5)重要なヘッジ会計の方法」に記載しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成24年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません((注)2.参照)。

	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(1) 現金及び預金	59,620	59,620	-
(2) 受取手形及び売掛金	89,523	89,523	-
(3) 電子記録債権	4,393	4,393	-
(4) 有価証券及び投資有価証券	59,636	59,636	-
資産計	213,173	213,173	-
(1) 支払手形及び買掛金	78,443	78,443	-
(2) 短期借入金	22,854	22,868	14
(3) 未払費用	17,207	17,207	-
(4) 未払法人税等	5,175	5,175	-
(5) 長期借入金	2,883	2,875	8
負債計	126,564	126,570	5
デリバティブ取引	-	-	-

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項  
資産

(1) 現金及び預金、(2) 受取手形及び売掛金、(3) 電子記録債権

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格または取引金融機関から提示された価格によっております。

負債

(1) 支払手形及び買掛金、(3) 未払費用、(4) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 短期借入金、(5) 長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照下さい。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	連結貸借対照表計上額(百万円)
非上場株式等	2,977

これらについては、市場価格がなく、時価を把握するのが極めて困難と認められることから、「(4) 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

3. 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

	1年以内 (百万円)	1年超 5年以内 (百万円)	5年超 10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
現金及び預金	59,620	-	-	-
受取手形及び売掛金	89,523	-	-	-
電子記録債権	4,393	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的の債券				
(1) 国債・地方債等	199	-	-	-
(2) その他	-	-	-	-
その他有価証券のうち 満期があるもの				
(1) 債券(社債等)	-	827	-	44,900
(2) その他	-	-	-	-
合計	153,735	827	-	44,900

4. 長期借入金及びその他の有利子負債の連結決算日後の返済予定額

	1年以内 (百万円)	1年超 2年以内 (百万円)	2年超 3年以内 (百万円)	3年超 4年以内 (百万円)	4年超 5年以内 (百万円)	5年超 (百万円)
短期借入金	22,854	-	-	-	-	-
長期借入金	-	1,946	519	228	186	2
合計	22,854	1,946	519	228	186	2

当連結会計年度（自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日）

1．金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については元本の保全を第一義に考え安全性を重視した運用を行い、また、資金調達については自己資金及び銀行借入による方針であります。

(2)金融商品の内容及びそのリスク管理と管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金、また、電子記録債権は、顧客の信用リスクに晒されていますが、取引先別の期日管理及び残高管理を行うことなどによりリスク低減を図っております。投資有価証券は市場価格の変動リスクに晒されていますが、主に業務上の関係を有する株式及び余資運用の債券であり、定期的に時価の把握を行っております。

営業債務である支払手形、買掛金、未払費用及び未払法人税等は1年以内の支払期日であります。短期借入金は主に営業取引に係る運転資金の確保を目的とした資金調達であり、長期借入金は主に設備投資を目的とした資金調達であります。また、営業債務や借入金は流動性のリスクに晒されていますが、資金繰計画を作成することなどにより当該リスクを管理しております。

デリバティブは為替変動リスク及び金利変動リスクを軽減するために利用することにしており、投機的な取引は行わない方針であります。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジの有効性の評価方法等については、前述の連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4．会計処理基準に関する事項 (5)重要なヘッジ会計の方法」に記載しております。

2．金融商品の時価等に関する事項

平成25年 3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません（（注）2．参照）。

	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(1) 現金及び預金	76,485	76,485	-
(2) 受取手形及び売掛金	90,299	90,299	-
(3) 電子記録債権	6,820	6,820	-
(4) 有価証券及び投資有価証券	69,279	69,279	-
資産計	242,885	242,885	-
(1) 支払手形及び買掛金	86,495	86,495	-
(2) 短期借入金	27,297	27,307	10
(3) 未払費用	18,663	18,663	-
(4) 未払法人税等	7,582	7,582	-
(5) 長期借入金	2,800	2,796	4
負債計	142,840	142,845	5
デリバティブ取引	-	-	-

(注) 1．金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 受取手形及び売掛金、(3) 電子記録債権

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格または取引金融機関から提示された価格によっております。

負 債

(1) 支払手形及び買掛金、(3) 未払費用、(4) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 短期借入金、(5) 長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照下さい。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	連結貸借対照表計上額(百万円)
非上場株式等	3,157

これらについては、市場価格がなく、時価を把握するのが極めて困難と認められることから、「(4) 有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

3. 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額

	1年以内 (百万円)	1年超 5年以内 (百万円)	5年超 10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
現金及び預金	76,485	-	-	-
受取手形及び売掛金	90,299	-	-	-
電子記録債権	6,820	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的の債券				
(1) 国債・地方債等	199	-	-	-
(2) その他	-	-	-	-
その他有価証券のうち				
満期があるもの				
(1) 債券(社債等)	-	831	-	41,200
(2) その他	-	-	-	-
合計	173,805	831	-	41,200

4. 長期借入金及びその他の有利子負債の連結決算日後の返済予定額

	1年以内 (百万円)	1年超 2年以内 (百万円)	2年超 3年以内 (百万円)	3年超 4年以内 (百万円)	4年超 5年以内 (百万円)	5年超 (百万円)
短期借入金	27,297	-	-	-	-	-
長期借入金	-	911	547	618	339	384
合計	27,297	911	547	618	339	384

(有価証券関係)

前連結会計年度(平成24年3月31日)

1. 売買目的有価証券

当連結会計年度の損益に含まれた評価差額 - 百万円

2. 満期保有目的の債券

	種類	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
時価が連結貸借 対照表計上額を 超えるもの	(1)国債・地方債等	199	199	0
	(2)社債	-	-	-
	(3)その他	-	-	-
	小計	199	199	0
時価が連結貸借 対照表計上額を 超えないもの	(1)国債・地方債等	-	-	-
	(2)社債	-	-	-
	(3)その他	-	-	-
	小計	-	-	-
合計		199	199	0

3. その他有価証券

	種類	連結貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価(百万円)	差額(百万円)
連結貸借対照表 計上額が取得原価 を超えるもの	(1)株式	19,944	7,033	12,911
	(2)債券			
	国債・地方債等	-	-	-
	社債	952	909	42
	その他	789	642	146
	(3)その他	180	180	0
	小計	21,867	8,766	13,101
連結貸借対照表 計上額が取得原価 を超えないもの	(1)株式	2,385	2,629	243
	(2)債券			
	国債・地方債等	-	-	-
	社債	-	-	-
	その他	34,039	40,535	6,496
	(3)その他	785	886	100
	小計	37,210	44,051	6,840
合計		59,078	52,818	6,260

(注) 非上場株式(連結貸借対照表計上額 2,977百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

4. 当連結会計年度中に売却したその他有価証券（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

種類	売却額（百万円）	売却益の合計額 （百万円）	売却損の合計額 （百万円）
(1)株式	4	8	0
(2)債券			
国債・地方債等	-	-	-
社債	-	-	-
その他	1,006	-	-
(3)その他	-	-	-
小計	1,010	8	0

5. 減損処理を行った有価証券

表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であります。なお、当連結会計年度において減損処理を行い、投資有価証券評価損2,968百万円を計上しております。

当連結会計年度（平成25年3月31日）

1. 売買目的有価証券

当連結会計年度の損益に含まれた評価差額 - 百万円

2. 満期保有目的の債券

	種類	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
時価が連結貸借 対照表計上額を 超えるもの	(1)国債・地方債等	99	99	0
	(2)社債	-	-	-
	(3)その他	-	-	-
	小計	99	99	0
時価が連結貸借 対照表計上額を 超えないもの	(1)国債・地方債等	99	99	0
	(2)社債	-	-	-
	(3)その他	-	-	-
	小計	99	99	0
合計		199	199	0

3. その他有価証券

	種類	連結貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価(百万円)	差額(百万円)
連結貸借対照表 計上額が取得原価 を超えるもの	(1)株式	28,226	8,528	19,698
	(2)債券 国債・地方債等 社債 その他	-	-	-
		1,013	922	91
		16,238	13,877	2,361
	(3)その他	704	609	94
	小計	46,183	23,937	22,245
連結貸借対照表 計上額が取得原価 を超えないもの	(1)株式	158	186	28
	(2)債券 国債・地方債等 社債 その他	-	-	-
		-	-	-
		22,149	23,600	1,450
	(3)その他	10	10	-
	小計	22,318	23,797	1,478
合計		68,501	47,734	20,766

(注) 非上場株式(連結貸借対照表計上額 3,157百万円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

4. 当連結会計年度中に売却したその他有価証券（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

種類	売却額（百万円）	売却益の合計額 （百万円）	売却損の合計額 （百万円）
(1) 株式	0	-	-
(2) 債券			
国債・地方債等	-	-	-
社債	-	-	-
その他	2,255	757	254
(3) その他	0	-	-
小計	2,256	757	254

5. 減損処理を行った有価証券

表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であります。なお、当連結会計年度において減損処理を行い、投資有価証券評価損3,031百万円を計上しております。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

1.ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引  
該当事項はありません。

2.ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引  
重要性が乏しいため記載を省略しております。

当連結会計年度(自平成24年4月1日至平成25年3月31日)

1.ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引  
該当事項はありません。

2.ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引  
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(退職給付関係)

1.採用している退職給付制度の概要

当社及び連結子会社K Iホールディングス(株)は、確定給付型の制度として、企業年金基金制度及び退職一時金制度を、その他の国内連結子会社については、退職一時金制度を設けております。また、一部の海外連結子会社は、確定拠出型制度及び確定給付型制度を設けております。

2.退職給付債務及びその内訳

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
イ. 退職給付債務(百万円)	55,851	53,779
ロ. 年金資産(百万円)	24,706	23,813
ハ. 未積立退職給付債務(イ+ロ)(百万円)	31,145	29,965
ニ. 未認識数理計算上の差異(百万円)	1,831	154
ホ. 連結貸借対照表計上額純額(ハ+ニ)(百万円)	29,313	30,120
ヘ. 退職給付引当金(百万円)	29,313	30,120

(注) 一部の連結子会社は退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しております。

3. 退職給付費用の内訳

	前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
イ. 勤務費用(百万円) 1. 2.	2,467	2,470
ロ. 利息費用(百万円)	1,081	1,045
ハ. 期待運用収益(百万円)	492	483
ニ. 数理計算上の差異の費用処理額(百万円)	1,125	1,248
ホ. 退職給付費用(イ+ロ+ハ+ニ)(百万円)	4,183	4,281

- (注) 1 企業年金基金に対する従業員拠出額を控除しております。  
2 簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は「イ. 勤務費用」に計上しております。

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
イ. 退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準	期間定額基準
ロ. 割引率(%)	2.0	2.0
ハ. 期待運用収益率(%)	2.0	2.0
ニ. 過去勤務債務の額の処理年数	従業員の平均残存勤務期間以内の 一定年数(5~10年)	従業員の平均残存勤務期間以内の 一定年数(5~10年)
ホ. 数理計算上の差異の処理年数	〃	〃

(ストック・オプション等関係)  
該当事項はありません。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
繰延税金資産		
賞与引当金超過額	1,588	1,658
退職給付引当金超過額	10,346	10,507
役員退職金	492	535
減価償却費超過額	86	-
投資有価証券評価損他	4,447	5,133
クレーム費用	1,679	1,827
保有土地評価損	583	582
製品保証引当金	634	671
貸倒引当金	305	311
繰越欠損金	7,412	7,800
その他	3,695	3,303
繰延税金資産小計	31,271	32,332
評価性引当額	15,196	14,460
繰延税金資産合計	16,074	17,872
繰延税金負債		
減価償却費	-	919
買換資産圧縮積立金	436	430
その他有価証券評価差額金	2,208	7,268
繰延税金負債合計	2,644	8,619
繰延税金資産純額	13,430	9,253

(注) 前連結会計年度及び当連結会計年度における繰延税金資産の純額は、連結貸借対照表の以下の項目に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
流動資産 - 繰延税金資産	3,029	3,370
固定資産 - 繰延税金資産	10,400	5,882

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主

要な項目別の内訳

前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

(資産除去債務関係)

前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
国内外の一部の工場で建物及び土地を賃借しており、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該資産に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現在のところ移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため当該債務に見合う資産除去債務を計上していません。	国内外の一部の工場で建物及び土地を賃借しており、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該資産に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現在のところ移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため当該債務に見合う資産除去債務を計上していません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、国内外において主に自動車用照明器を生産、グローバルサプライヤーとして世界各国に製品を提供しております。各々の現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社の報告セグメントは生産・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「中国」、「アジア」及び「欧州」の5つを報告セグメントとしております。

また、各セグメントの中には自動車用照明器のほか、鉄道車両用制御機器、航空機部品、鉄道車両・航空機用シートを生産・販売しているセグメントもあります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	254,742	40,680	87,506	33,056	14,944	430,929	-	430,929
セグメント間の内部売上高 又は振替高	103,571	9	2,192	3,553	13,316	122,643	(122,643)	-
計	358,313	40,689	89,698	36,609	28,260	553,572	(122,643)	430,929
セグメント利益又は損失( )	24,427	13	6,291	3,064	1,445	32,324	(598)	31,725
セグメント資産	192,636	24,477	56,022	28,112	13,008	314,257	49,015	363,273
その他の項目								
減価償却費	11,203	1,595	4,474	1,608	562	19,444	72	19,517
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,337	4,750	5,788	3,209	359	21,445	-	21,445

(注)1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益(営業利益)の調整額 598百万円には、セグメント間取引消去2,872百万円及び配賦不能営業費用 3,471百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

(2)セグメント資産の調整額49,015百万円には、セグメント間取引消去 81,254百万円、親会社での余資産運用資金（現金及び預金）34,165百万円、長期投資資金（投資有価証券等）94,165百万円、本社建物等1,939百万円が含まれております。

(3)減価償却費の調整額72百万円は、親会社の本社における固定資産減価償却費であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1)北米 ...米国
- (2)アジア...タイ、インドネシア、台湾、インド
- (3)欧州 ...ベルギー、英国、チェコ

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	261,568	62,869	94,070	42,798	11,536	472,843	-	472,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	112,629	6	1,593	4,515	12,721	131,466	(131,466)	-
計	374,197	62,876	95,663	47,314	24,258	604,310	(131,466)	472,843
セグメント利益又は損失（ ）	26,790	1,188	6,155	4,294	928	37,500	167	37,668
セグメント資産	192,126	38,179	72,676	38,885	11,880	353,749	64,338	418,087
その他の項目								
減価償却費	10,575	2,074	2,519	2,017	569	17,757	69	17,827
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	8,320	3,680	2,208	7,249	826	22,285	-	22,285

（注）1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益（営業利益）の調整額167百万円には、セグメント間取引消去3,991百万円及び配賦不能営業費用 3,824百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

(2)セグメント資産の調整額64,338百万円には、セグメント間取引消去 98,632百万円、親会社での余資産運用資金（現金及び預金）50,711百万円、長期投資資金（投資有価証券等）110,361百万円、本社建物等1,898百万円が含まれております。

(3)減価償却費の調整額69百万円は、親会社の本社における固定資産減価償却費であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1)北米 ...米国、メキシコ
- (2)アジア...タイ、インドネシア、台湾、インド
- (3)欧州 ...ベルギー、英国、チェコ

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	自動車照明 関連事業	自動車照明以外 ・電気機器関連事業	その他事業	合計
外部顧客に対する売上高	363,997	41,776	25,155	430,929

2. 地域に関する情報

(1)売上高

(単位:百万円)

日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計
250,695	45,089	85,792	32,991	15,670	690	430,929

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2)有形固定資産

(単位:百万円)

日本	北米	中国	アジア	欧州	合計
38,812	12,243	17,567	12,742	3,702	85,068

3. 主要な顧客に関する情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
トヨタ自動車(株)	104,384	日本

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	自動車照明 関連事業	自動車照明以外 ・電気機器関連事業	その他事業	合計
外部顧客に対する売上高	413,158	37,646	22,038	472,843

2. 地域に関する情報

(1)売上高

(単位:百万円)

日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計
260,032	66,049	92,216	42,086	12,142	317	472,843

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2)有形固定資産

(単位:百万円)

日本	北米	中国	アジア	欧州	合計
36,779	18,084	20,939	19,089	4,300	99,193

3. 主要な顧客に関する情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
トヨタ自動車(株)	116,964	日本

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

該当事項はありません。

【関連当事者情報】

前連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
その他の関係会社	トヨタ自動車㈱	愛知県豊田市	397,049	自動車及び同部品の製造・販売、産業車両の販売、住宅の製造・販売等	（被所有） 直接20	自動車照明機器の販売	自動車照明機器の販売	104,384	電子記録債権	4,393
									売掛金	12,834
							材料の受給	3,575	買掛金	862

（注）1．上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

2．取引条件及び取引条件の決定方針等

- ・自動車照明機器の販売については、総原価を勘案して当社希望価格を提示し、毎期価格交渉の上、一般的取引条件と同様に決定しております。
- ・購入並びに支給品については、一般的取引条件と同様に決定しております。

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
その他の関係会社	トヨタ自動車㈱	愛知県豊田市	397,049	自動車及び同部品の製造・販売、産業車両の販売、住宅の製造・販売等	（被所有） 直接20	自動車照明機器の販売	自動車照明機器の販売	116,964	電子記録債権	3,899
									売掛金	11,093
							材料の受給	5,243	買掛金	1,161

（注）1．上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれておりません。

2．取引条件及び取引条件の決定方針等

- ・自動車照明機器の販売については、総原価を勘案して当社希望価格を提示し、毎期価格交渉の上、一般的取引条件と同様に決定しております。
- ・購入並びに支給品については、一般的取引条件と同様に決定しております。

( 1株当たり情報 )

前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり純資産額 997円38銭 1株当たり当期純利益金額 83円33銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり純資産額 1,180円61銭 1株当たり当期純利益金額 103円46銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(百万円)	13,391	16,625
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(百万円)	13,391	16,625
普通株式の期中平均株式数(千株)	160,700	160,698

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

【連結附属明細表】

【社債明細表】

該当事項はありません。

【借入金等明細表】

区分	当期首残高 (百万円)	当期末残高 (百万円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	20,210	25,498	2.22	-
1年以内に返済予定の長期借入金	2,644	1,799	1.60	-
1年以内に返済予定のリース債務	18	21	-	-
長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く)	2,883	2,800	7.54	平成26年～32年
リース債務(1年以内に返済予定のものを除く)	51	50	-	平成26年～31年
その他有利子負債	-	-	-	-
合計	25,808	30,170	-	-

(注) 1. 平均利率については期末借入金残高に対する加重平均利率を記載しております。

2. リース債務の平均利率については、リース料総額に含まれる利息相当額を控除する前の金額でリース債務を計上しているため、記載していません。

3. 長期借入金及びリース債務(1年以内に返済予定のものを除く。)の連結決算日後5年間の返済予定額は以下のとおりであります。

	1年超2年以内 (百万円)	2年超3年以内 (百万円)	3年超4年以内 (百万円)	4年超5年以内 (百万円)
長期借入金	911	547	618	339
リース債務	18	15	9	5

【資産除去債務明細表】

該当事項はありません。

(2)【その他】

当連結会計年度における四半期情報等

(累計期間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	当連結会計年度
売上高(百万円)	112,911	225,734	339,970	472,843
税金等調整前四半期(当期) 純利益金額(百万円)	5,156	13,335	22,343	33,004
四半期(当期)純利益金額 (百万円)	2,929	7,236	12,279	16,625
1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	18.23	45.03	76.41	103.46

(会計期間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
1株当たり四半期純利益 (円)	18.23	26.81	31.38	27.05

決算日後の状況

特記事項はありません。

訴訟

- ・連結子会社であるKIホールディングス(株)は、平成23年1月28日付で、全日本空輸(株)(現 ANAホールディングス(株))より、航空機シートの納入義務の債務不履行に基づく契約解除及び損害賠償請求を内容とする訴訟の提起を受けておりましたが、平成25年5月31日付で、当該訴訟の和解契約を締結致しました。
- ・連結子会社であるKIホールディングス(株)は、平成23年12月9日付で、Thai Airways International Public Company Limitedより、損害賠償請求訴訟の提起を受けており、平成24年10月19日付で当該訴訟の請求の趣旨の変更の申立がありました。当該訴訟は、航空機シートの納入義務の債務不履行及び品質保証違反等に基づく損害賠償請求を内容とするものであり、英国高等法院(High Court of Justice)に係属中です。
- ・当社及び連結子会社であるノースアメリカンライティングインクは、平成25年5月1日付でSHERIDAN CHEVROLET CADILLAC LTD.他より、損害賠償請求訴訟の提起を受けております。当該訴訟は、自動車用ランプについて調整行為を行ったとして、損害賠償請求を内容とするものであり、カナダ国オンタリオ州上位裁判所に係属中ですが、当社は適切に対処し、正当性があることを主張していく所存であります。

2【財務諸表等】  
(1)【財務諸表】  
【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,165	50,711
受取手形	3 453	3 349
電子記録債権	3 4,393	3 6,820
売掛金	3 42,262	3 34,505
製品	4,074	3,798
仕掛品	738	863
原材料及び貯蔵品	3,978	3,945
未収入金	3 15,377	15,098
短期貸付金	0	60
繰延税金資産	1,974	2,171
その他	2,072	260
貸倒引当金	12,214	12,211
流動資産合計	97,276	106,372
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1 11,452	1 10,681
構築物（純額）	1 719	1 649
機械及び装置（純額）	1 1,353	1 1,616
車両運搬具（純額）	1 77	1 102
工具、器具及び備品（純額）	1 2,417	1 2,332
土地	7,102	7,102
建設仮勘定	7	-
有形固定資産合計	23,130	22,485
無形固定資産		
電話加入権	37	37
その他	88	84
無形固定資産合計	125	121
投資その他の資産		
投資有価証券	47,854	53,564
関係会社株式	40,787	44,919
関係会社出資金	5,523	11,877
長期貸付金	98	55
繰延税金資産	11,839	8,300
差入保証金	569	500
その他	425	680
貸倒引当金	139	134
投資その他の資産合計	106,959	119,763
固定資産合計	130,216	142,369
資産合計	227,492	248,742

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3 44,008	3 40,935
未払金	726	1,193
未払費用	10,538	10,482
賞与引当金	3,459	3,529
役員賞与引当金	317	-
製品保証引当金	1,700	1,800
課徴金引当金	-	3,428
未払法人税等	3,024	5,559
その他	882	950
流動負債合計	64,655	67,879
固定負債		
退職給付引当金	20,533	21,796
役員退職慰労引当金	1,088	-
海外投資等損失引当金	7,000	7,000
環境対策引当金	21	24
その他	1	1,235
固定負債合計	28,645	30,055
負債合計	93,301	97,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金		
資本準備金	17,107	17,107
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	17,108	17,108
利益剰余金		
利益準備金	3,567	3,567
その他利益剰余金		
買換資産圧縮積立金	2 810	2 799
別途積立金	80,000	80,000
繰越利益剰余金	14,454	22,436
利益剰余金合計	98,832	106,803
自己株式	76	78
株主資本合計	130,134	138,104
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,055	12,702
評価・換算差額等合計	4,055	12,702
純資産合計	134,190	150,807
負債純資産合計	227,492	248,742

## 【損益計算書】

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当事業年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
売上高	2 218,295	2 230,263
売上原価		
期首製品半製品たな卸高	5,185	4,074
当期製品半製品製造原価	2, 3 181,966	2, 3 191,636
当期商品仕入高	3,185	3,424
合計	190,337	199,136
他勘定振替高	871	773
期末製品半製品たな卸高	4,074	3,798
売上原価合計	185,391	194,563
売上総利益	32,904	35,699
販売費及び一般管理費		
販売費	1 8,744	1 8,970
一般管理費	1, 3 8,476	1, 3 9,118
販売費及び一般管理費合計	17,221	18,088
営業利益	15,682	17,611
営業外収益		
受取利息	81	77
有価証券利息	254	239
受取配当金	2 4,462	2 3,771
ロイヤルティー収入等	2 2,080	2 2,892
賃貸料	570	569
雑収入	379	392
営業外収益合計	7,828	7,943
営業外費用		
支払利息	30	-
雑損失	51	423
営業外費用合計	81	423
経常利益	23,429	25,130
特別利益		
投資有価証券売却益	-	757
特別利益合計	-	757
特別損失		
課徴金引当金繰入額	-	5 3,428
投資有価証券評価損	2,968	3,030
関係会社株式評価損	-	1,018
投資有価証券売却損	-	254
固定資産除売却損	4 7	4 171
関係会社出資金評価損	6,669	-
その他	300	-
特別損失合計	9,945	7,904
税引前当期純利益	13,484	17,983
法人税、住民税及び事業税	6,203	8,111
法人税等調整額	374	1,312
法人税等合計	6,578	6,798
当期純利益	6,906	11,184

【製品半製品製造原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)		当事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
材料費		132,389	72.4	142,091	73.8
労務費		25,758	14.1	26,579	13.8
経費		24,647	13.5	23,842	12.4
(うち減価償却費)		(6,342)		(5,187)	
当期総製造費用		182,796	100.0	192,513	100.0
期首仕掛品たな卸高		893		738	
合計		183,689		193,251	
他勘定振替高		984		752	
期末仕掛品たな卸高		738		863	
当期製品半製品製造原価		181,966		191,636	

(注)

前事業年度	当事業年度
<p>1. 他勘定振替高は金型、その他資産振替高であります。</p> <p>2. 原価計算の方法 標準原価に基づく組別総合原価計算を採用しております。</p> <p>期中に発生した原価差額は期末において調整して実際原価に修正することとしております。</p>	<p>1. 他勘定振替高は金型、その他資産振替高であります。</p> <p>2. 原価計算の方法 標準原価に基づく組別総合原価計算を採用しております。</p> <p>期中に発生した原価差額は期末において調整して実際原価に修正することとしております。</p>

## 【株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当事業年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	14,270	14,270
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	14,270	14,270
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本準備金</b>		
当期首残高	17,107	17,107
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	17,107	17,107
<b>その他資本剰余金</b>		
当期首残高	-	0
当期変動額		
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	0	-
当期末残高	0	0
<b>資本剰余金合計</b>		
当期首残高	17,107	17,108
当期変動額		
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	0	-
当期末残高	17,108	17,108
<b>利益剰余金</b>		
<b>利益準備金</b>		
当期首残高	3,567	3,567
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	3,567	3,567
<b>その他利益剰余金</b>		
<b>買換資産圧縮積立金</b>		
当期首残高	761	810
当期変動額		
買換資産圧縮積立金の積立	62	-
買換資産圧縮積立金の取崩	13	11
当期変動額合計	48	11
当期末残高	810	799
<b>別途積立金</b>		
当期首残高	80,000	80,000
当期変動額		
当期変動額合計	-	-
当期末残高	80,000	80,000

	前事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当事業年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
<b>繰越利益剰余金</b>		
当期首残高	10,489	14,454
当期変動額		
買換資産圧縮積立金の積立	62	-
買換資産圧縮積立金の取崩	13	11
剰余金の配当	2,892	3,213
当期純利益	6,906	11,184
当期変動額合計	3,964	7,982
当期末残高	14,454	22,436
<b>利益剰余金合計</b>		
当期首残高	94,819	98,832
当期変動額		
剰余金の配当	2,892	3,213
当期純利益	6,906	11,184
当期変動額合計	4,013	7,971
当期末残高	98,832	106,803
<b>自己株式</b>		
当期首残高	74	76
当期変動額		
自己株式の取得	2	1
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	2	1
当期末残高	76	78
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	126,123	130,134
当期変動額		
剰余金の配当	2,892	3,213
当期純利益	6,906	11,184
自己株式の取得	2	1
自己株式の処分	0	-
当期変動額合計	4,011	7,969
当期末残高	130,134	138,104
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	1,817	4,055
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,238	8,646
当期変動額合計	2,238	8,646
当期末残高	4,055	12,702

	前事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当事業年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
<b>評価・換算差額等合計</b>		
当期首残高	1,817	4,055
<b>当期変動額</b>		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,238	8,646
当期変動額合計	2,238	8,646
当期末残高	4,055	12,702
<b>純資産合計</b>		
当期首残高	127,940	134,190
<b>当期変動額</b>		
剰余金の配当	2,892	3,213
当期純利益	6,906	11,184
自己株式の取得	2	1
自己株式の処分	0	-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,238	8,646
当期変動額合計	6,249	16,616
当期末残高	134,190	150,807

【注記事項】  
(重要な会計方針)

項目	当事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)				
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1)子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法</p> <p>(2)その他有価証券 時価のあるもの 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法</p>				
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>(1)デリバティブ 時価法</p> <p>(2)運用目的の金銭の信託 時価法</p>				
3. たな卸資産の評価基準及び評価方法	<p>主として総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。</p>				
4. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1)有形固定資産(リース資産を除く) 定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <table border="0" data-bbox="533 887 932 954"> <tr> <td>建物及び構築物</td> <td>7～50年</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び車輛運搬具</td> <td>3～7年</td> </tr> </table> <p>(2)無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用しております。</p> <p>(3)リース資産 該当事項はありません。</p>	建物及び構築物	7～50年	機械装置及び車輛運搬具	3～7年
建物及び構築物	7～50年				
機械装置及び車輛運搬具	3～7年				
5. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準	<p>外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。</p>				
6. 引当金の計上基準	<p>(1)貸倒引当金 売掛金等債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2)賞与引当金 従業員の賞与支給に充てるため事業年度分支給見込額を期間に基づいて計上しております。</p> <p>(3)製品保証引当金 品質保証費用発生に備えるため、所定の基準により発生見込額を計上しております。</p> <p>(4)課徴金引当金 独占禁止法の規定に基づく課徴金納付命令書を受領したことに伴い、当該命令書の金額を計上しております。</p> <p>(5)退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(6)海外投資等損失引当金 海外投資に係る損失に備えるため、投資国のカントリーリスク及び海外関係会社の財政状態等を勘案して、当社所定の基準による損失見込額を計上しております。</p> <p>(7)環境対策引当金 環境対策に係る費用発生に備えるため、発生見込額を計上しております。</p>				

項目	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
7. ヘッジ会計の方法	<p>ヘッジ会計の方法</p> <p>ヘッジ対象に係る損益又は評価差額は、ヘッジ時点で認識し、それを期間に基づいて配分しております。</p> <p>ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>ヘッジ対象は外貨建取引の為替変動リスクと固定金利又は変動金利の借入金の金利変動リスクとし、為替変動リスクについては為替予約取引を、金利変動リスクについては、金利スワップをそれぞれヘッジ手段としております。</p> <p>ヘッジ方針</p> <p>原則として、投機的な目的の為にヘッジを利用することはありません。利用するヘッジ取引は確定した取引をヘッジする目的の為に為替予約取引、金利スワップ取引としております。</p> <p>ヘッジ有効性評価の方法</p> <p>個別ヘッジにおいて、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動又はキャッシュ・フロー変動を直接結び付けてヘッジ有効性を判断するものとし、その方法は、ヘッジ取引開始時並びにヘッジ取引時以降において管理方針に関する社内規程に基づいて実施することとしております。</p>
8. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>消費税等の会計処理</p> <p>消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。</p>

(表示方法の変更)  
(貸借対照表関係)

当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<p>前事業年度において、「流動資産」の「売掛金」に含めていた「電子記録債権」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。</p> <p>この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「売掛金」に表示してありました46,656百万円は、「電子記録債権」4,393百万円、「売掛金」42,262百万円として組替えております。</p>

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)																														
<p>1.有形固定資産の減価償却累計額(減損損失累計額を含む)は104,642百万円であります。</p> <p>2.買換資産圧縮積立金は、租税特別措置法に基づき積立てております。</p> <p>3.関係会社に係る注記 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">電子記録債権・売掛金</td> <td style="text-align: right;">21,081 百万円</td> </tr> <tr> <td>未収入金</td> <td style="text-align: right;">2,378</td> </tr> <tr> <td>買掛金</td> <td style="text-align: right;">11,870</td> </tr> </table> <p>4.保証債務 関係会社の借入金等に対し次のとおり債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">K Iホールディングス(株)</td> <td style="text-align: right;">11,056百万円</td> </tr> <tr> <td>コイトチェコス.r.o.</td> <td style="text-align: right;">6,588</td> </tr> <tr> <td>ノースアメリカンライティングインク</td> <td style="text-align: right;">6,164</td> </tr> <tr> <td>コイト電工(株)</td> <td style="text-align: right;">4,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">27,809</td> </tr> </table>	電子記録債権・売掛金	21,081 百万円	未収入金	2,378	買掛金	11,870	K Iホールディングス(株)	11,056百万円	コイトチェコス.r.o.	6,588	ノースアメリカンライティングインク	6,164	コイト電工(株)	4,000	計	27,809	<p>1.有形固定資産の減価償却累計額(減損損失累計額を含む)は100,883百万円であります。</p> <p>2.買換資産圧縮積立金は、租税特別措置法に基づき積立てております。</p> <p>3.関係会社に係る注記 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">電子記録債権・売掛金</td> <td style="text-align: right;">18,188 百万円</td> </tr> <tr> <td>買掛金</td> <td style="text-align: right;">12,105</td> </tr> </table> <p>4.保証債務 関係会社の借入金等に対し次のとおり債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">ノースアメリカンライティングインク</td> <td style="text-align: right;">18,810百万円</td> </tr> <tr> <td>K Iホールディングス(株)</td> <td style="text-align: right;">11,050</td> </tr> <tr> <td>コイトチェコス.r.o.</td> <td style="text-align: right;">4,032</td> </tr> <tr> <td>コイトヨーロッパリミテッド</td> <td style="text-align: right;">2,147</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">36,039</td> </tr> </table>	電子記録債権・売掛金	18,188 百万円	買掛金	12,105	ノースアメリカンライティングインク	18,810百万円	K Iホールディングス(株)	11,050	コイトチェコス.r.o.	4,032	コイトヨーロッパリミテッド	2,147	計	36,039
電子記録債権・売掛金	21,081 百万円																														
未収入金	2,378																														
買掛金	11,870																														
K Iホールディングス(株)	11,056百万円																														
コイトチェコス.r.o.	6,588																														
ノースアメリカンライティングインク	6,164																														
コイト電工(株)	4,000																														
計	27,809																														
電子記録債権・売掛金	18,188 百万円																														
買掛金	12,105																														
ノースアメリカンライティングインク	18,810百万円																														
K Iホールディングス(株)	11,050																														
コイトチェコス.r.o.	4,032																														
コイトヨーロッパリミテッド	2,147																														
計	36,039																														

(損益計算書関係)

前事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)																																																																						
<p>1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <p>(1)販売費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">運賃運送費</td> <td style="text-align: right;">3,766百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">2,391</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">353</td> </tr> <tr> <td>荷造梱包費</td> <td style="text-align: right;">1,451</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">26</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">226</td> </tr> </table> <p>(2)一般管理費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">99百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">2,730</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">317</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">1,292</td> </tr> <tr> <td>研究費</td> <td style="text-align: right;">179</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">568</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">377</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">149</td> </tr> </table> <p>2 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">売上高</td> <td style="text-align: right;">118,744百万円</td> </tr> <tr> <td>仕入高</td> <td style="text-align: right;">93,057</td> </tr> <tr> <td>受取配当金</td> <td style="text-align: right;">4,098</td> </tr> <tr> <td>ロイヤルティー収入等</td> <td style="text-align: right;">1,881</td> </tr> </table> <p>3 研究開発費の総額 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 10,749百万円</p> <p>4 固定資産除売却損の内訳は次のとおりであります。 建物・構築物等 7百万円</p>	運賃運送費	3,766百万円	従業員給与手当	2,391	福利厚生費	353	荷造梱包費	1,451	減価償却費	26	退職給付費用	226	広告宣伝費	99百万円	従業員給与手当	2,730	役員賞与引当金繰入額	317	福利厚生費	1,292	研究費	179	減価償却費	568	退職給付費用	377	役員退職慰労引当金繰入額	149	売上高	118,744百万円	仕入高	93,057	受取配当金	4,098	ロイヤルティー収入等	1,881	<p>1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <p>(1)販売費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">運賃運送費</td> <td style="text-align: right;">3,986百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">2,384</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">370</td> </tr> <tr> <td>荷造梱包費</td> <td style="text-align: right;">1,417</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">23</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">230</td> </tr> </table> <p>(2)一般管理費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">72百万円</td> </tr> <tr> <td>従業員給与手当</td> <td style="text-align: right;">2,954</td> </tr> <tr> <td>福利厚生費</td> <td style="text-align: right;">1,275</td> </tr> <tr> <td>研究費</td> <td style="text-align: right;">186</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">530</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">333</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">293</td> </tr> </table> <p>2 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">売上高</td> <td style="text-align: right;">128,683百万円</td> </tr> <tr> <td>仕入高</td> <td style="text-align: right;">102,030</td> </tr> <tr> <td>受取配当金</td> <td style="text-align: right;">3,494</td> </tr> <tr> <td>ロイヤルティー収入等</td> <td style="text-align: right;">2,404</td> </tr> </table> <p>3 研究開発費の総額 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 11,454百万円</p> <p>4 固定資産除売却損の内訳は次のとおりであります。 建物・構築物等 171百万円</p> <p>5 課徴金引当金繰入額 独占禁止法の規定に基づく課徴金納付命令書を受領したことに伴い、当該命令書の金額を計上しておりません。</p>	運賃運送費	3,986百万円	従業員給与手当	2,384	福利厚生費	370	荷造梱包費	1,417	減価償却費	23	退職給付費用	230	広告宣伝費	72百万円	従業員給与手当	2,954	福利厚生費	1,275	研究費	186	減価償却費	530	退職給付費用	333	役員退職慰労引当金繰入額	293	売上高	128,683百万円	仕入高	102,030	受取配当金	3,494	ロイヤルティー収入等	2,404
運賃運送費	3,766百万円																																																																						
従業員給与手当	2,391																																																																						
福利厚生費	353																																																																						
荷造梱包費	1,451																																																																						
減価償却費	26																																																																						
退職給付費用	226																																																																						
広告宣伝費	99百万円																																																																						
従業員給与手当	2,730																																																																						
役員賞与引当金繰入額	317																																																																						
福利厚生費	1,292																																																																						
研究費	179																																																																						
減価償却費	568																																																																						
退職給付費用	377																																																																						
役員退職慰労引当金繰入額	149																																																																						
売上高	118,744百万円																																																																						
仕入高	93,057																																																																						
受取配当金	4,098																																																																						
ロイヤルティー収入等	1,881																																																																						
運賃運送費	3,986百万円																																																																						
従業員給与手当	2,384																																																																						
福利厚生費	370																																																																						
荷造梱包費	1,417																																																																						
減価償却費	23																																																																						
退職給付費用	230																																																																						
広告宣伝費	72百万円																																																																						
従業員給与手当	2,954																																																																						
福利厚生費	1,275																																																																						
研究費	186																																																																						
減価償却費	530																																																																						
退職給付費用	333																																																																						
役員退職慰労引当金繰入額	293																																																																						
売上高	128,683百万円																																																																						
仕入高	102,030																																																																						
受取配当金	3,494																																																																						
ロイヤルティー収入等	2,404																																																																						

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(千株)	当事業年度増加 株式数(千株)	当事業年度減少 株式数(千株)	当事業年度末 株 式数(千株)
普通株式(注)	89	2	0	90
合計	89	2	0	90

(注)普通株式の自己株式の増加は、単元未満株式の買取りによる増加であり、減少は単元未満株式の売渡しによる減少であります。

当事業年度(自平成24年4月1日至平成25年3月31日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数(千株)	当事業年度増加 株式数(千株)	当事業年度減少 株式数(千株)	当事業年度末 株 式数(千株)
普通株式(注)	90	0	-	91
合計	90	0	-	91

(注)普通株式の自己株式の増加は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

(有価証券関係)

前事業年度(平成24年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
子会社株式	4,430	6,594	2,163
関連会社株式	-	-	-
合計	4,430	6,594	2,163

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式

区分	貸借対照表計上額(百万円)
子会社株式	28,709
関連会社株式	63

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「子会社株式及び関連会社株式」には含めておりません。

当事業年度(平成25年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
子会社株式	3,412	7,278	3,866
関連会社株式	-	-	-
合計	3,412	7,278	3,866

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式

区分	貸借対照表計上額(百万円)
子会社株式	31,120
関連会社株式	63

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「子会社株式及び関連会社株式」には含めておりません。

( 税効果会計関係 )

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (平成24年3月31日)	(単位：百万円) 当事業年度 (平成25年3月31日)
繰延税金資産		
賞与引当金超過額	1,290	1,316
退職給付引当金超過額	7,186	7,628
役員退職金	395	431
減価償却費超過額	1,741	1,654
投資有価証券評価損他	4,398	5,132
海外投資等損失引当金	2,450	2,450
保有土地評価損	435	435
クレーム費用	1,561	1,728
製品保証引当金	634	671
貸倒引当金	109	108
その他	341	328
繰延税金資産小計	20,545	21,886
評価性引当額	4,110	4,145
繰延税金資産合計	16,434	17,741
繰延税金負債		
買換資産圧縮積立金	436	430
その他有価証券評価差額金	2,183	6,839
繰延税金負債計	2,620	7,270
繰延税金資産純額	13,814	10,471

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主

要な項目別の内訳

前事業年度 (平成24年3月31日)	当事業年度 (平成25年3月31日)
(%)	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。
法定実効税率	
(調整)	
繰延税金資産取崩し	
その他	
税効果会計適用後の法人税等の負担率	48.8

(資産除去債務関係)

前事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
一部の工場で建物及び土地を賃借しており、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該資産に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現在のところ移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。	一部の工場で建物及び土地を賃借しており、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該資産に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現在のところ移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり純資産額 835円05銭	1株当たり純資産額 938円45銭
1株当たり当期純利益金額 42円97銭	1株当たり当期純利益金額 69円60銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	当事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(百万円)	6,906	11,184
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(百万円)	6,906	11,184
普通株式の期中平均株式数(千株)	160,700	160,698

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 【附属明細表】

## 【有価証券明細表】

## 【株式】

投資有価証券	その他 有価証券	銘柄	株式数(株)	貸借対照表計上額 (百万円)
		日亜化学工業(株)	20,000	2,075
N O K(株)	975,000	1,316		
マツダ(株)	4,220,000	1,185		
日産自動車(株)	1,298,988	1,175		
ヤマハ発動機(株)	910,000	1,173		
富士重工業(株)	772,816	1,129		
(株)大和証券グループ本社	1,181,238	774		
(株)三菱UFJフィナンシャルグループ	1,363,600	760		
K Y B(株)	1,428,000	656		
パナソニック(株)	1,000,000	654		
スズキ(株)	294,000	620		
豊田通商(株)	254,234	620		
K O A(株)	680,350	614		
日野自動車(株)	580,000	585		
シーケーディー(株)	773,581	469		
(株)オートバックスセブン	282,600	425		
日産車体(株)	345,545	402		
ダイハツ工業(株)	200,000	390		
(株)みずほフィナンシャルグループ	1,797,490	357		
(株)三井住友フィナンシャルグループ	81,306	306		
三井住友トラスト・ホールディングス(株)	665,967	295		
野村ホールディングス(株)	457,008	263		
ウシオ電機(株)	214,399	208		
第一生命保険(株)	1,208	152		
その他(28銘柄)	1,352,818	818		
計			21,150,148	17,433

【債券】

		銘柄	券面総額（百万円）	貸借対照表計上額 （百万円）
投資有価証券	その他 有価証券	Depfa Bank plc早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	3,000	2,913
		ドイツ銀行早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	3,000	2,654
		三菱UFJセキュリティーズ インターナショナル 早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	2,200	2,194
		ドイツ銀行早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	2,000	1,765
		KBC Financial Products International LTD 早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	2,000	1,627
		Kommunalkredit Austria AG 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	2,000	2,102
		Kommunalkredit Austria AG 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,900	1,866
		AB Svensk Exportkredit 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,900	1,757
		大和証券(株) 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,600	1,378
		Allegro Investment Corporation S.A. 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,600	1,540
		Credit Suisse International 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,500	1,171
		ドイツ銀行早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	1,400	1,270
		Kommunalkredit Austria AG 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,400	1,494
		大和証券(株) 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,000	993
		Depfa Bank plc早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	1,000	953
		ドイツ銀行早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	1,000	975
		デクシア・ルクセンブルク国際銀行 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,000	767
		Kommunalkredit Austria AG 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,000	985
		Kommunalkredit Austria AG 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,000	968
		Commonwealth Bank of Australia 早 期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,000	775
		Allegro Investment Corporation S.A. 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,000	921

投資有価証券	その他 有価証券	銘柄	券面総額(百万円)	貸借対照表計上額 (百万円)
		J.P.Morgan International Derivatives 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	1,000	1,009
Kommunalkredit Austria AG 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	900	903		
ドイツ銀行早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	500	459		
大和証券(株) 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	500	439		
Allegro Investment Corporation S.A. 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	500	497		
ドイツ銀行早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	400	372		
モルガン・スタンレー早期償還条項付 元本保証型ユーロ円債	400	362		
J.P.Morgan Structured Products B.V. 早期償還条項付元本保証型ユーロ円債	300	300		
計		38,000	35,423	

【その他】

投資有価証券	その他 有価証券	種類及び銘柄	投資口数等(千口)	貸借対照表計上額 (百万円)
		(出資金) 出資証券(2銘柄)	0	2
(投資信託受益証券) 証券投資信託受益証券(2銘柄)	830,871	704		
計		830,871	706	

【有形固定資産等明細表】

資産の種類	当期首残高 (百万円)	当期増加額 (百万円)	当期減少額 (百万円)	当期末残高 (百万円)	当期末減価償却 累計額及び減損 損失累計額 又は償却累計額 (百万円)	当期償却額 (百万円)	差引当期末残高 (百万円)
有形固定資産							
建物	41,849	325	322	41,852	31,170	1,079	10,681
構築物	4,056	9	17	4,048	3,399	76	649
機械及び装置	50,303	1,432	3,899	47,836	46,220	1,162	1,616
車両運搬具	1,342	84	193	1,233	1,130	52	102
工具、器具及び備品	23,111	3,279	5,096	21,295	18,963	3,363	2,332
土地	7,102	-	-	7,102	-	-	7,102
建設仮勘定	7	5,123	5,131	-	-	-	-
有形固定資産計	127,773	10,252	14,658	123,368	100,883	5,735	22,485
無形固定資産							
電話加入権	-	-	-	37	-	-	37
その他	-	-	-	102	18	6	84
無形固定資産計	-	-	-	140	18	6	121
長期前払費用	-	184	-	184	-	-	184

(注) 1. 当期増加額及び減少額のうち主なものは次のとおりであります。

機械及び装置 (百万円)	増加額	静岡工場	943	榛原工場	174	相良工場	298
	減少額	静岡工場	864	榛原工場	1,303	相良工場	303
工具、器具及び備 品(百万円)	増加額	静岡工場	1,802	榛原工場	852	相良工場	610
	減少額	静岡工場	2,444	榛原工場	1,648	相良工場	841

2. 無形固定資産の金額が資産総額の1%以下であるため「当期首残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の記載を省略しております。

【引当金明細表】

区分	当期首残高 (百万円)	当期増加額 (百万円)	当期減少額 (目的使用) (百万円)	当期減少額 (その他) (百万円)	当期末残高 (百万円)
貸倒引当金	12,353	151	-	158	12,346
賞与引当金	3,459	3,529	3,459	-	3,529
役員賞与引当金	317	-	317	-	-
製品保証引当金	1,700	100	-	-	1,800
課徴金引当金	-	3,428	-	-	3,428
役員退職慰労引当金	1,088	293	194	1,187	-
海外投資等損失引当金	7,000	-	-	-	7,000
環境対策引当金	21	2	-	-	24

(注) 当期減少額(その他)は、貸倒引当金が一般債権の貸倒実績率による洗替額、役員退職慰労引当金が役員退職慰労金制度廃止に伴い、固定負債「その他」に振替えたものであります。

(2)【主な資産及び負債の内容】

流動資産

イ．現金及び預金

区分	金額(百万円)
現金	18
預金の種類	
当座預金	0
普通預金	837
定期預金	49,854
小計	50,692
合計	50,711

ロ．受取手形

相手先別内訳

相手先	金額(百万円)
(株)村上開明堂	92
クラリオンセールスアンドマーケティング(株)	64
日本ボデーパーツ工業(株)	50
岡田商事(株)	34
日本トレクス(株)	19
その他	88
合計	349

期日別内訳

期日	金額(百万円)
平成25年4月	108
5月	106
6月	95
7月	34
8月	4
合計	349

八．売掛金  
相手先別内訳

相手先	金額（百万円）
トヨタ自動車㈱	11,093
富士重工業㈱	3,279
スズキ㈱	2,769
マツダ㈱	2,508
いすゞ自動車㈱	1,688
日産自動車㈱	1,492
その他	11,673
合計	34,505

売掛金の発生及び回収並びに滞留状況

当期首残高 （百万円）	当期発生高 （百万円）	当期回収高 （百万円）	当期末残高 （百万円）	回収率（％）	滞留期間（日）
(A)	(B)	(C)	(D)	$\frac{(C)}{(A) + (B)} \times 100$	(A) + (D) 2 (B) 365
42,262	241,095	248,852	34,505	87.8	58

（注）当期発生高には消費税等が含まれております。

二．製品

品名	金額（百万円）
自動車照明器	2,626
航空機部品	44
その他製品	176
半製品	951
合計	3,798

ホ．仕掛品

品名	金額（百万円）
自動車照明器	641
航空機部品	86
その他	135
合計	863

へ．原材料及び貯蔵品

区分	金額（百万円）
電球	150
部品	3,268
塗料	9
樹脂材料	61
その他	455
合計	3,945

ト．未収入金

区分	金額（百万円）
貸倒懸念債権	12,097
貯蔵品等材料有償支給	2,239
その他	760
合計	15,098

固定資産

イ．投資有価証券

附属明細表「有価証券明細表」をご参照下さい。

ロ．関係会社株式

銘柄	金額（百万円）
小糸九州(株)	3,000
KIホールディングス(株)	2,079
ノースアメリカンライティングインク	12,505
コイトヨーロップリミテッド	8,392
ノースアメリカンライティングメキシコ	2,411
エスエーデシーブイ	2,346
P T . インドネシア・コイト	1,332
大億交通工業製造股?有限公司	904
インディアジャパンライティング	904
プライベートリミテッド	
トヨタ自動車(株)	10,323
その他	1,623
合計	44,919

流動負債  
イ．買掛金

相手先	金額（百万円）
小糸九州㈱	4,641
岡谷鋼機㈱	3,343
豊田通商㈱	1,584
アオイテック㈱	1,396
日亜化学工業㈱	1,218
その他	28,751
合計	40,935

固定負債  
イ．退職給付引当金

区分	金額（百万円）
未積立退職給付債務等	21,796
合計	21,796

(3) 【その他】

決算日後の状況

特記事項はありません。

訴訟

- ・当社及び連結子会社であるノースアメリカンライティングインクは、平成25年5月1日付でSHERIDAN CHEVROLET CADILLAC LTD.他より、損害賠償請求訴訟の提起を受けております。当該訴訟は、自動車用ランプについて調整行為を行ったとして、損害賠償請求を内容とするものであり、カナダ国オンタリオ州上位裁判所に係属中ですが、当社は適切に対処し、正当性があることを主張していく所存であります。

## 第6【提出会社の株式事務の概要】

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	9月30日 3月31日
1単元の株式数	1,000株
単元未満株式の買取り、買増し	
取扱場所	(特別口座) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	(特別口座) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
取次所 買取り、買増し手数料	株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公告掲載方法	当会社の公告は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。なお、そのアドレスは次のとおりであります。URL <a href="http://www.koito.co.jp">http://www.koito.co.jp</a>
株主に対する特典	該当事項はありません

(注) 当社定款の定めにより、単元未満株主は、会社法847条に規定する責任追及等の訴えの提起を行うことができません。

## 第7【提出会社の参考情報】

### 1【提出会社の親会社等の情報】

当社は金融商品取引法第24条の7第1項に規定する親会社等はありません。

### 2【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

#### (1) 有価証券報告書及びその添付書類並びに確認書

事業年度（第112期）（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）平成24年6月29日関東財務局長に提出

#### (2) 内部統制報告書及びその添付書類

平成24年6月29日関東財務局長に提出

平成25年6月28日関東財務局長に提出

#### (3) 四半期報告書及び確認書

（第113期第1四半期）（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）平成24年8月3日関東財務局長に提出

（第113期第2四半期）（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）平成24年11月1日関東財務局長に提出

（第113期第3四半期）（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）平成25年2月1日関東財務局長に提出

#### (4) 臨時報告書

平成24年6月29日関東財務局長に提出

金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づく臨時報告書であります。

平成25年6月28日関東財務局長に提出

金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づく臨時報告書であります。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

平成25年 6月27日

株式会社小糸製作所  
取締役会 御中

### 明治監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 芳井 誠 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 笹山 淳 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 二階堂 博文 印

#### < 財務諸表監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社小糸製作所の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益及び包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、その他の注記及び連結附属明細表について監査を行った。

#### 連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社小糸製作所及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### < 内部統制監査 >

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第2項の規定に基づく監査証明を行うため、株式会社小糸製作所の平成25年3月31日現在の内部統制報告書について監査を行った。

#### 内部統制報告書に対する経営者の責任

経営者の責任は、財務報告に係る内部統制を整備及び運用し、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して内部統制報告書を作成し適正に表示することにある。

なお、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した内部統制監査に基づいて、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、当監査法人に内部統制報告書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき内部統制監査を実施することを求めている。

内部統制監査においては、内部統制報告書における財務報告に係る内部統制の評価結果について監査証拠を入手するための手続が実施される。内部統制監査の監査手続は、当監査法人の判断により、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性に基づいて選択及び適用される。また、内部統制監査には、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果について経営者が行った記載を含め、全体としての内部統制報告書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、株式会社小糸製作所が平成25年3月31日現在の財務報告に係る内部統制は有効であると表示した上記の内部統制報告書が、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価結果について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管している。  
2. 連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

## 独立監査人の監査報告書

平成25年6月27日

株式会社小糸製作所  
取締役会 御中

### 明治監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 芳井 誠 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 笹山 淳 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 二階堂 博文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社小糸製作所の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第113期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

#### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社小糸製作所の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管している。  
2. 財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。